

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容 (指示) にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体 (個々の説明枠) にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>


注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- ジーマ本体の施工は「自然浴家族ジーマ - 本体編 - 取付説明書 (E273)」で施工してください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 設置場所を確認してください。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
 - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
 - ・本製品は一般住宅の地上階設置用です。それ以外の場所への取付けはおやめください。
- フラットデッキ仕様の場合は、指定の床板補強材を取付けて施工してください。
- 施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。
- 市販の研磨紙を利用する際は、80番の研磨紙を用いてください。
- 施工手順は、「取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。

取付説明書区分表

フラットデッキ仕様の場合

施 工 手 順	使用する取付説明書	取説コード
束柱の位置決め	自然浴家族 ジーマーデッキ編(樹の木Ⅲ)ー	E271
基礎の施工 束柱・根がらみ・大引の取付け	樹の木Ⅲ	E203
床板補強材の取付け デッキの張付け	自然浴家族 ジーマーデッキ編(樹の木Ⅲ)ー	E271
幕板の取付け	樹の木Ⅲ	E203
本体の取付け	自然浴家族 ジーマー本体編ー 自然浴家族 ジーマーデッキ編(樹の木Ⅲ)ー	E273 E271

内面立ち上げ仕様の場合

施 工 手 順	使用する取付説明書	取説コード
本体の取付け	自然浴家族 ジーマー本体編ー	E273
束柱の位置決め	自然浴家族 ジーマーデッキ編(樹の木Ⅲ)ー	E271
基礎の施工 束柱・根がらみ・大引の取付け	樹の木Ⅲ 自然浴家族 ジーマーデッキ編(樹の木Ⅲ)ー	E203 E271
内面デッキの張付け 幅調整床板の取付け	自然浴家族 ジーマーデッキ編(樹の木Ⅲ)ー	E271
束柱・大引の取付け	樹の木Ⅲ 自然浴家族 ジーマーデッキ編(樹の木Ⅲ)ー	E203 E271
外面デッキの張付け 幅調整床板の取付け	自然浴家族 ジーマーデッキ編(樹の木Ⅲ)ー	E271
幕板の取付け	樹の木Ⅲ 自然浴家族 ジーマーデッキ編(樹の木Ⅲ)ー	E203 E271
本体の取付け	自然浴家族 ジーマー本体編ー	E273

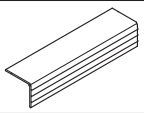
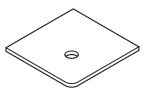
<施工上のご注意>

⚠ 注意

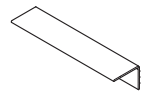
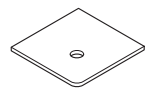
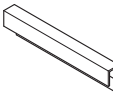
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の指示通りに組付けてください。製品の強度の低下、材料破損をする場合があります。
- 束柱の移動範囲は弊社指定範囲にしてください。
- ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 基礎石は指定寸法以上のものを使用し、確実に設置してください。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 施工中についた表面すりキズは、引き渡し前に研磨紙で補修してください。表面研磨する場合は、事前の研磨方向に沿って(平行)行なってください。
- 施工中についた表面の汚れやシミは、引き渡し前に水洗い等をしてください。中性洗剤を薄めたものを使用した場合は、よく水洗いをしてください。

■梱包明細表

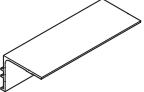
【1】デッキ見切り材（前面）セット

名 称	略 図	員 数	
		1.5間	2.0間
デッキ見切り材		1	1
コーナー部品		2	2
【1-1】φ4×12 サラタッピンネジ1種 D=6		20	23

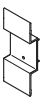
【2】デッキ見切り材（側面）セット

名 称	略 図	員 数		
		4尺	6尺	8尺
デッキ見切り材		2	2	2
コーナー部品		4	4	4
ベース材外スペーサー		1	1	1
【2-1】φ4×12 サラタッピンネジ1種 D=6		30	34	38
【2-2】φ4×16 ナベドリルネジ		8	10	12

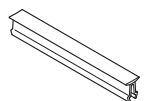
【3】デッキ受け材セット

名 称	略 図	員 数	
		1.5間	2.0間
デッキ受け材		1	1
【3-1】φ4×16ナベドリルネジ		18	20

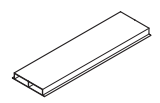
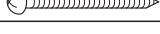
【4】幕板固定金具Aセット

名 称	略 図	員 数	
		1個入	4個入
インナーデッキ幕板固定金具A		1	4
【4-1】φ4×16 ナベドリルネジ D=8.2		2	8
【4-2】φ4×19 サラドリルネジ D=7		4	10

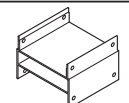
【5】目地塞ぎ材Bセット

名 称	略 図	員数
目地塞ぎ材B		5

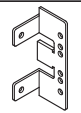
【6】床板補強材セット

名 称	略 図	員数
床板補強材		1
【6-1】φ4×13ナベドリルネジ		20
【6-2】φ3.8×20ナベALC特殊ネジ		40
【6-3】φ4×70トラスタッピン1種		24

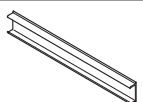
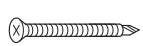
【7】束柱スペーサーセット

名 称	略 図	員 数	
		1個入	3個入
束柱スペーサー		1	3
【7-1】φ4×16 ナベドリルネジ D=8.2		5	13

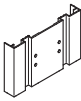
【8】大引き・ベース材取付部品セット

名 称	略 図	員 数	
		1セット	3セット
大引・ベース材取付金具		2	6
【8-1】φ4×16 ナベドリルネジ D=8.2		9	25

【9】デッキ納め部材セット

名 称	略 図	員 数		
		4尺	6尺	8尺
デッキ納め部材		2	2	2
【9-1】φ4×65 サラドリルネジ		16	20	24

【10】デッキ納め柱部品セット

名 称	略 図	員数
デッキ受け材取付部品		1
デッキ受け材（デッキ納め柱部品）		2
【10-1】φ4×19サラドリルネジ D=6		4
【10-2】φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		4

【11】デッキ納め柱部品セット（3尺延長柱用）

名 称	略 図	員数
デッキ受け材取付部品（3尺延長柱用）		1
デッキ受け材（デッキ納め柱部品）		2
【11-1】φ4×19サラドリルネジ D=6		2
【11-2】φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		4

【13】外デッキ受け材セット

名 称	略 図	員 数	
		1.5間	2.0間
デッキ受け材		1	1
ジーマ前面見切り材		1	1
【13-1】φ4×16ナベドリルネジ		32	36

【15】床板取付部品セット

名 称	略 図	員 数		
		基本	追加40	追加20
横止め金具		60	40	20
穴開け治具		1	—	—
補修用研磨紙		2	—	—
【15-1】φ4×13 ナベドリルネジ		66	44	22
取付説明書〈E203〉	—	1	—	—
取扱説明書〈UE057〉	—	1	—	—

【12】ベース材外スペーサーセット

名 称	略 図	員 数				
		4尺	6尺	8尺	1.5間	2.0間
ベース材外スペーサー		2	2	2	1	1
【12-1】φ4×16 ナベドリルネジ		16	20	24	14	16

【14】束柱Aセット

名 称	略 図	員 数			
		1本入り	4本入り	6本入り	9本入り
束柱A		1	4	6	9
束柱固定金具		1	4	6	9
【14-1】φ5×35 セルフタッパアンカー		1	4	6	9
【14-2】φ4×13 ナベドリルネジ		5	20	30	45

【16】幕板連結キャップセット

名 称	略 図	員 数
幕板B連結キャップ		1
【16-1】φ4×14サラタッピン1種		2

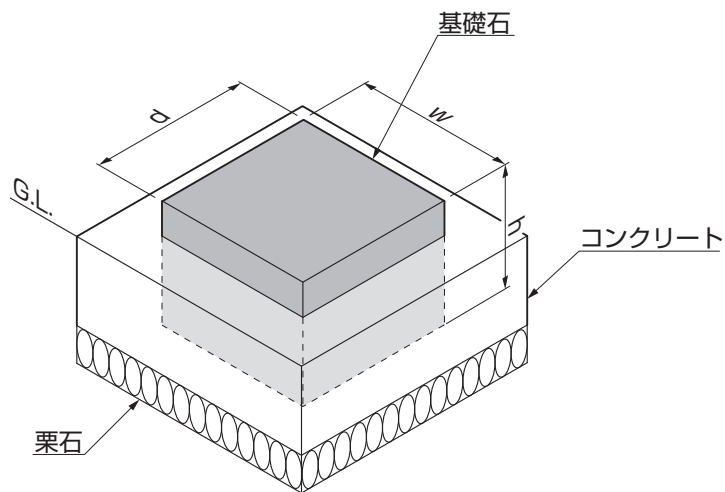
【17】連棟・入隅用スペーサーセット

名 称	略 図	員 数
連棟・入隅用スペーサー		1
連棟・入隅用スペーサーフタ		1
【17-1】φ4.1×32丸木ネジ		2
【17-2】φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		2
【17-3】S6フィッシャープラグ		2

INDEX

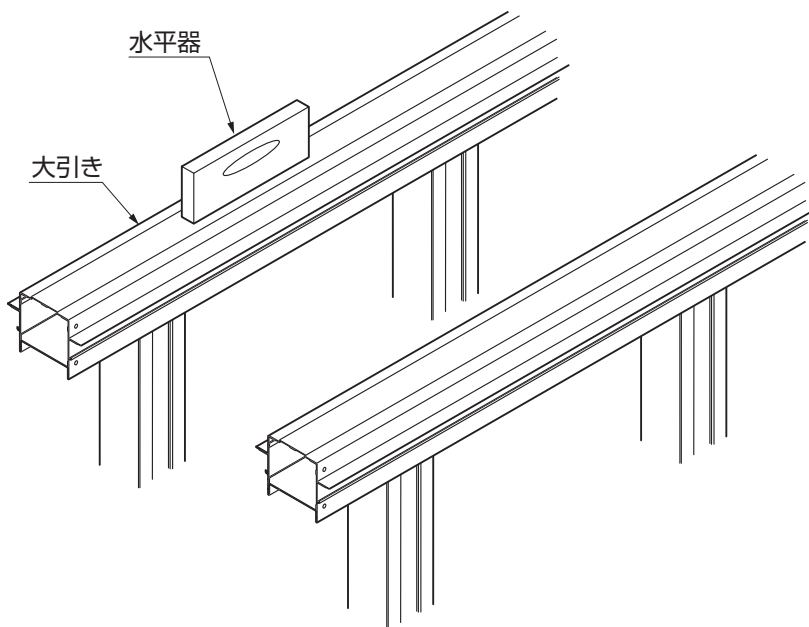
■ 1	施工時の重要確事項	6
■ 2	基本寸法	8
	1. 内面立ち上げ仕様の場合	8
	2. フラットデッキ仕様の場合	16
■ 3	作業を行う前に	24
	1. 水盛遺方・水系張り	24
	2. 基礎石配置	24
■ 4	フラットデッキ仕様の施工	25
	1. デッキの施工	25
	2. 本体の施工	28
■ 5	内面デッキ立ち上げ仕様の施工	31
	1. 内面デッキの施工	31
	2. 外面デッキの施工	39
■ 6	インナーデッキ仕様の取付け	50
	1. 幕板の取付け	50
	2. 幕板を連結する場合	51

1 施工時の重要確認事項



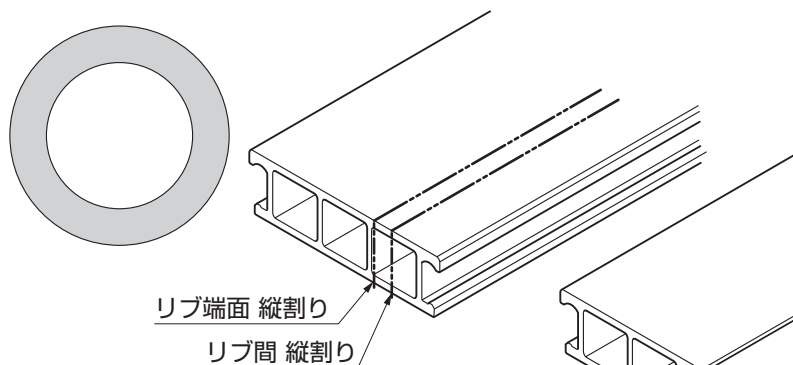
ポイント

- 各基礎石の位置を約300mm角、深さ200mmに掘り、栗石を敷いた上に基礎石を設置した上で、最終的に周りをコンクリート（またはモルタル）で固めてください。基礎石を固めないと、基礎の浮き沈みが生じるおそれがあります。基礎石は、 $w=200 \times d=200 \times h=200\text{mm}$ 以上にしてください。



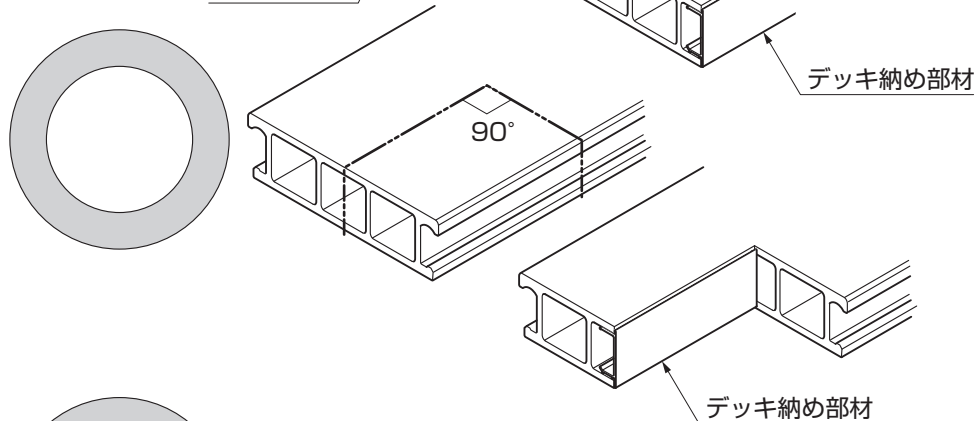
ポイント

- 大引きが傾いていないことを確認してください。水平が出ていないと、パネルの開閉に支障をきたす場合があります。



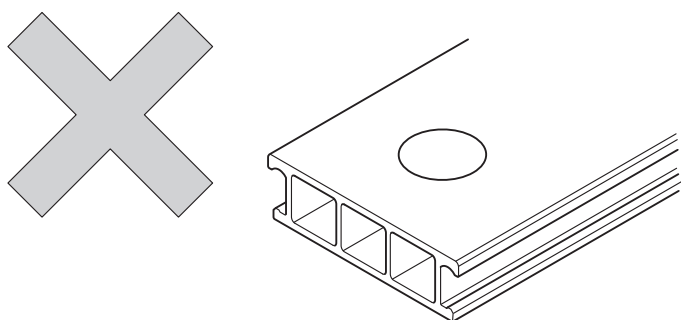
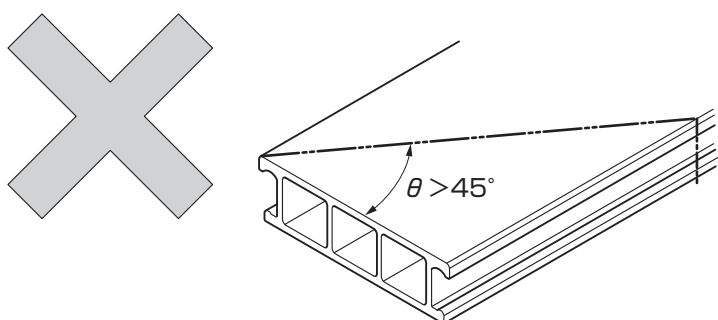
ポイント

- 床板の間口調整は、床板枚数単位で行なってください。
- 床板を切断する場合は、リブの端面で切断し、リブ間で切断する場合は必ず、デッキ納め部材を使用してください。



ポイント

- 床板・幕板を斜め切りするときは、 45° 以内にしてください。切り込み過ぎは、材料の変形・破損の原因になります。



ポイント

- 床板幕板の部材中央部をくりぬかないでください。材料の変形・破損の原因になります。

2 基本寸法

1-1 基本仕様の場合

Technical drawing of a rectangular frame structure, likely a mold or a container, showing dimensions and internal components.

Dimensions:

- W1:** Width of the top horizontal section.
- WP2:** Width of the top horizontal section, excluding the side margins.
- 50:** Width of the side margins on the top.
- DP2:** Depth of the top horizontal section.
- D1:** Depth of the main vertical section.
- D:** Total depth of the structure.
- DP1:** Depth of the main vertical section, excluding the top and bottom margins.
- 200:** Depth of the top and bottom margins.
- WP1:** Width of the bottom horizontal section, excluding the side margins.
- W:** Total width of the structure.
- 200:** Width of the side margins on the bottom.

Internal Components and Labels:

- *1:** A small square component located in the center of the bottom horizontal section.
- *2:** Two small square components located on the bottom horizontal section, one on each side of the central component.
- W2:** Width of the bottom horizontal section, excluding the side margins.

圖 1-1 基礎伏圖

	W	W1	W2	WP1 (ピッチ)	WP2 (ピッチ)
1.5間	4315	2495	2615	3：正面左側から 1360、1360、1180	2：正面左側から 1247.5、1247.5
2.0間	5215	3405	3525	4：正面左側から 1140、1340、1250、1070	3：正面左側から 1205、1100、1100
2.5間	6115	4315	4435	4：正面左側から 1590、1790、1250、1070	3：正面左側から 1415、1450、1450
3.0間	7015	5225	5345	4：正面左側から 1590、1790、1700、1520	4：正面左側から 1300、1302.5、1322.5、1300

	D	D1	DP1 (ピッチ)	DP2 (ピッチ)
6 尺	2400	1725	3 : 躯体側から 785,515,700	3 : 躯体側から 200,785,680
8 尺	2900	2325	4 : 躯体側から 725,575,500,700	4 : 躯体側から 200,725,575,765

- ※1 標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合には中間柱を設置します。
- ※2 積雪地仕様の2.5間の場合のみジーマ本体の中心に対して右寄りか左寄りに中間柱を設置します。

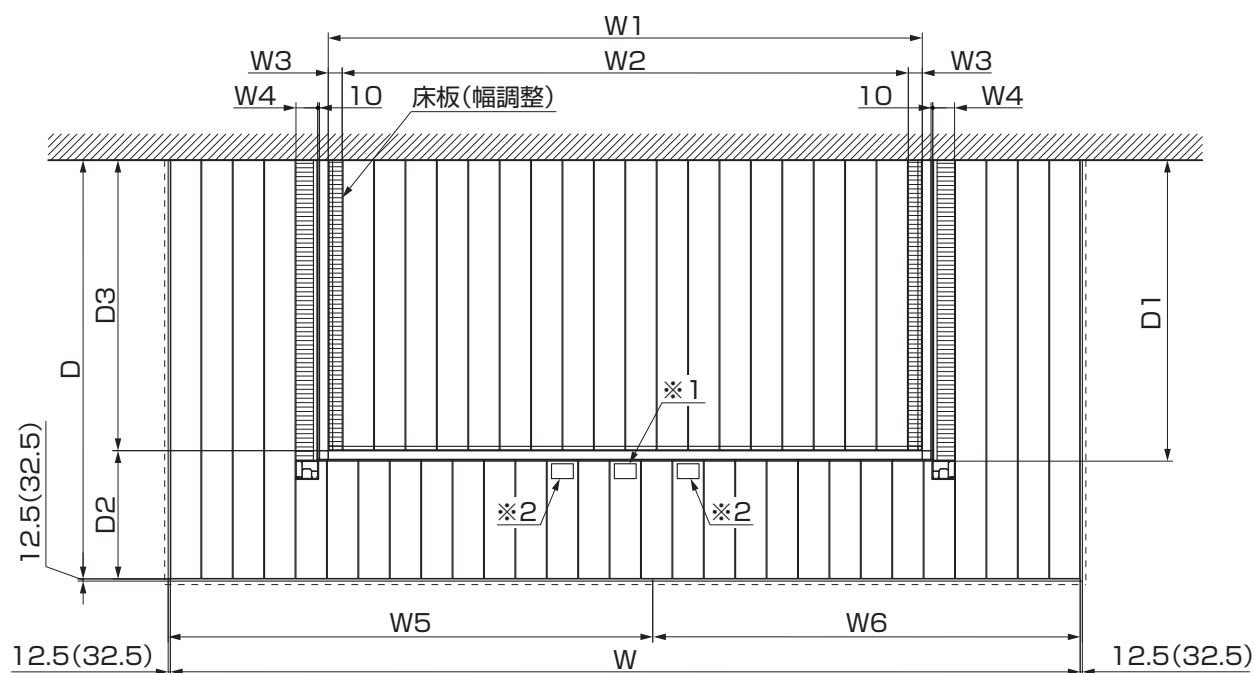


図1-2 デッキ割付け図

表1-3 間口寸法

	W	W1	W2	W3	W4	W5	W6
1.5間	4315	2495	2345	75	130	2282.5 (2302.5)	2057.5 (2077.5)
2.0間	5215	3405	3245	80	125	2777.5 (2797.5)	2462.5 (2482.5)
2.5間	6115	4315	4145	85	120	3542.5 (3562.5)	2597.5 (2617.5)
3.0間	7015	5225	5045	90	115	3542.5 (3562.5)	3497.5 (3517.5)

表1-4 出幅寸法

	D	D1	D2	D3
6尺	2400	1725	735	1665
8尺	2900	2325	635	2265

ポイント

- ※1 標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合には中間柱を設置します。
- ※2 積雪地仕様の2.5間の場合のみジーマ本体の中心に対して右寄りか左寄りに中間柱を設置します。
- () 内寸法は、幕板A仕様を示します。
- 外面デッキ前面の柱内々の底板は、6尺はL=2900、8尺はL=2400から切り出してください。

1. (つづき)

1-1 つづき

(2) バルコニー下・バルコニー前納まり (6尺+3尺、8尺+3尺) の場合

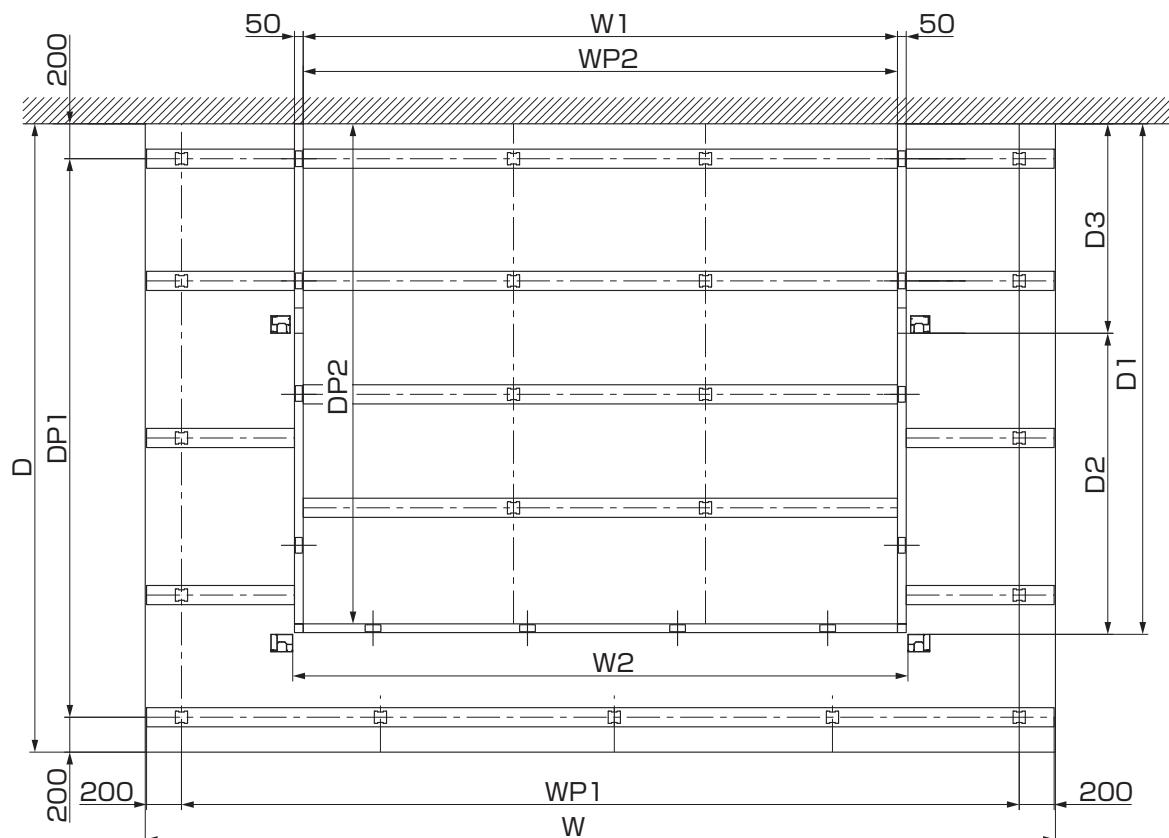


図1-3 基礎伏図

表1-5 間口寸法

	W	W1	W2	WP1 (ピッチ)	WP2 (ピッチ)
1.5間	4315	2495	2615	3: 正面左側から 1360,1360,1180	2: 正面左側から 1247.5,1247.5
2.0間	5215	3405	3525	4: 正面左側から 1140,1340,1250,1070	3: 正面左側から 1205,1100,1100
2.5間	6115	4315	4435	4: 正面左側から 1590,1790,1250,1070	3: 正面左側から 1415,1450,1450

表1-6 出幅寸法

	D	D1	D2	D3	DP1 (ピッチ)	DP2 (ピッチ)
6尺+3尺 (バルコニー下)	3300	2625	1725	900	4: 躯体側から 900,650,650,700	4: 躯体側から 200,900,650,815
8尺+3尺 (バルコニー下)	3900	3225	2325	900	5: 躯体側から 900,700,600,500,800	5: 躯体側から 200,900,700,600,765
6尺+3尺 (バルコニー前)※	3600	2925	1725	1200	4: 躯体側から 700,900,900,700	5: 躯体側から 200,700,650,650,665
8尺+3尺 (バルコニー前)※	4200	3525	2325	1200	5: 躯体側から 700,900,600,900,700	5: 躯体側から 200,700,900,900,765

※バルコニー前仕様のD3寸法はMAX1200mmです。

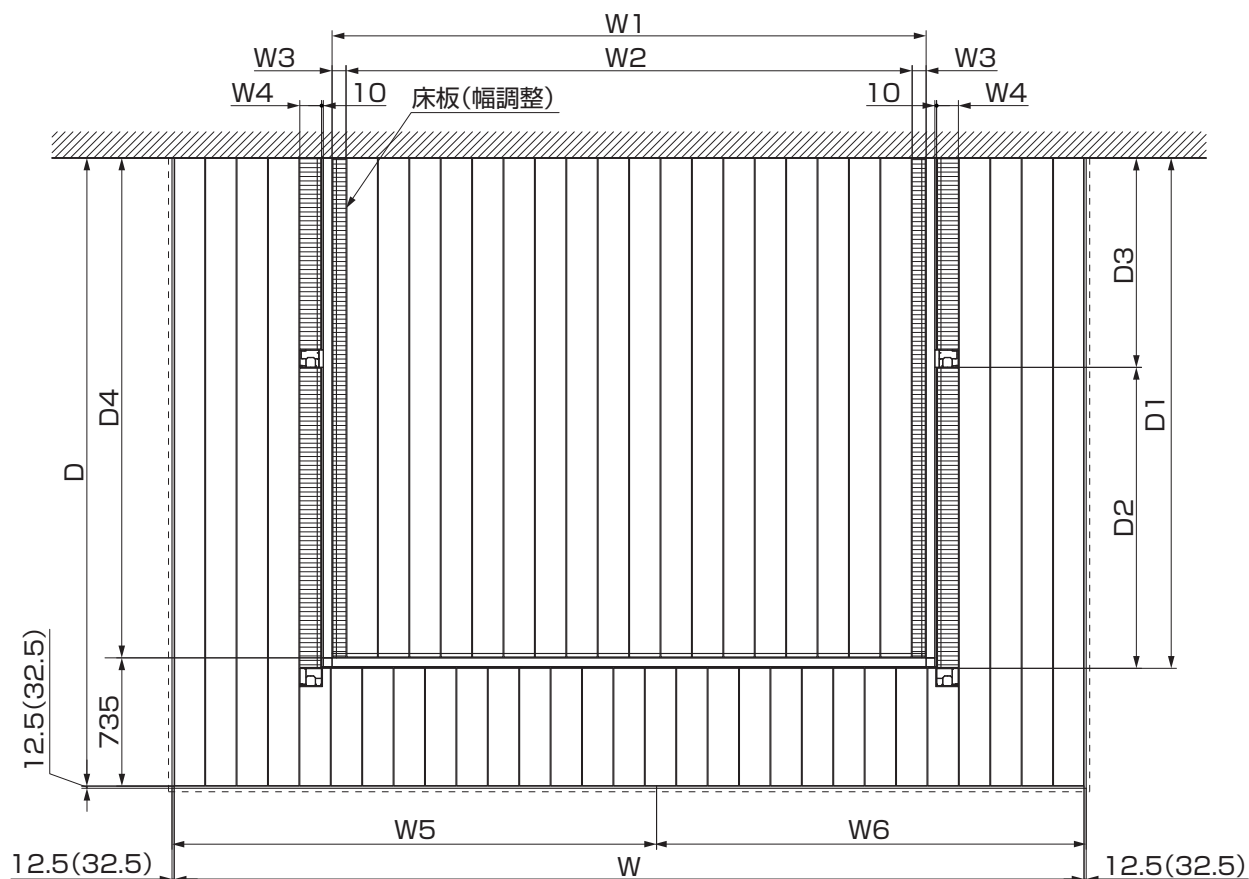


図1-4 デッキ割付け図

表1-7 間口寸法

	W	W1	W2	W3	W4	W5	W6
1.5間	4315	2495	2345	75	130	2282.5 (2302.5)	2057.5 (2077.5)
2.0間	5215	3405	3245	80	125	2777.5 (2797.5)	2462.5 (2482.5)
2.5間	6115	4315	4145	85	120	3542.5 (3562.5)	2597.5 (2617.5)

表1-8 出幅寸法

	D	D1	D2	D3	D4
6尺+3尺 (バルコニー下)	3300	2625	1725	900	2565
8尺+3尺 (バルコニー下)	3900	3225	2325	900	3165
6尺+3尺 (バルコニー前)※	3600	2925	1725	1200	2865
8尺+3尺 (バルコニー前)※	4200	3525	2325	1200	3465

※バルコニー前仕様のD3寸法はMAX1200mmです。

ポイント

- () 内寸法は、幕板A仕様を示します。
- 外面デッキ前面の柱内々の底板は、L=2900から切り出してください。
- 8尺+3尺 (バルコニー下)、8尺+3尺 (バルコニー前) の外デッキの床板は、大引の上で継いでください。

1. (つづき)

1-2 入隅仕様の場合 ※図は右入隅の場合を示します。

(1) 基本納まりの場合

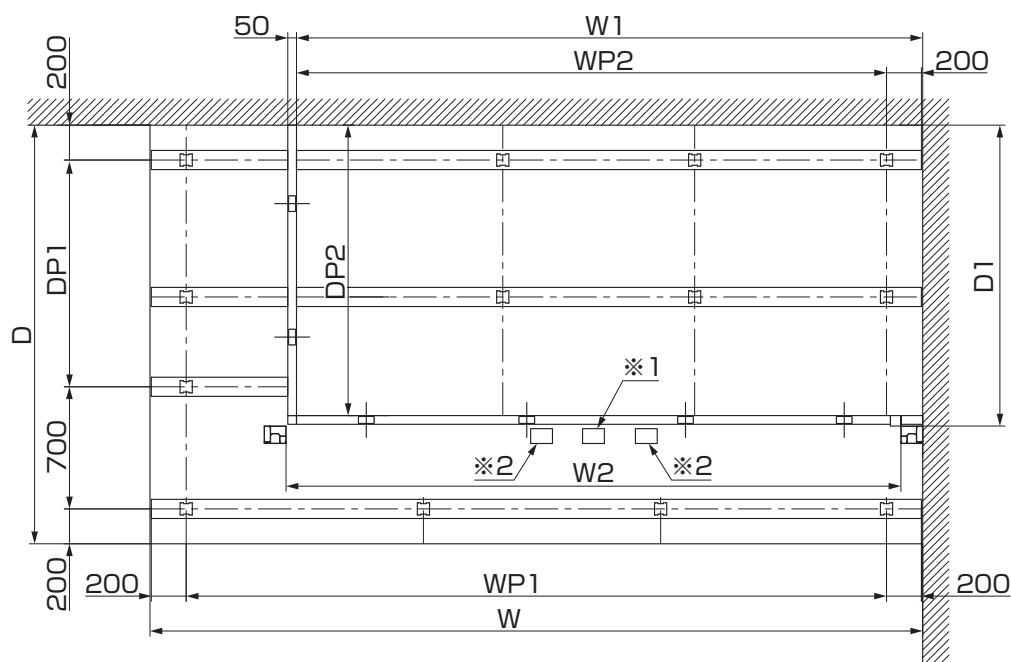


図1-5 基礎伏図

表1-9 間口寸法

	W	W1	W2	WP1 (ピッチ)	WP2 (ピッチ)
1.5間	3525	2680	2615	2: 正面左側から1590、1520	2: 正面左側から1320、1152.5
2.0間	4430	3590	3525	3: 正面左側から1360、1360、1295	3: 正面左側から1182.5、1100、1100
2.5間	5330	4500	4435	4: 正面左側から1140、1340、1250、1185	3: 正面左側から1300、1277.5、1715
3.0間	6240	5410	5345	4: 正面左側から1590、1790、1250、1195	4: 正面左側から1300、1277.5、1325、1300

表1-10 出幅寸法

	D	D1	DP1 (ピッチ)	DP2 (ピッチ)
6 尺	2400	1725	2: 躯体側から 785、515	3: 躯体側から 200、785、680
8 尺	2900	2325	3: 躯体側から 725、575、500	4: 躯体側から 200、725、575、765

ポイント

- ※1 標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合には中間柱を設置します。
- ※2 積雪地仕様の2.5間の場合のみジーマ本体の中心に対して右寄りか左寄りに中間柱を設置します。

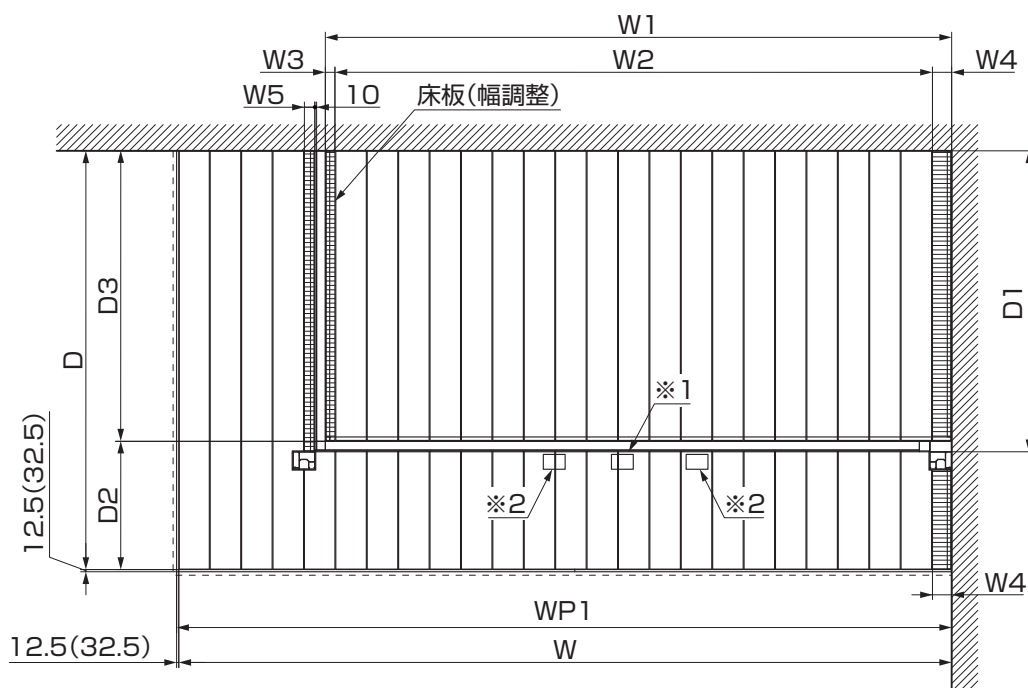


図1-6 デッキ割付け図

表1-11 間口寸法

	W	W1	W2	W3	W4	W5	WP1 (ピッチ)
1.5間	3525	2680	2525	50	105	65	1 : 3537.5 (3557.5)
2.0間	4430	3590	3425	55	110	60	2 : 正面左側から2282.5 (2302.5) 、2160
2.5間	5330	4500	4325	65	110	50	2 : 正面左側から2777.5 (2797.5) 、2565
3.0間	6240	5410	5225	65	120	50	2 : 正面左側から3182.5 (3202.5) 、3070

表1-12 出幅寸法

	D	D1	D2	D3
6尺	2400	1725	735	1665
8尺	2900	2325	635	2265

ポイント

- ※1 標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合には中間柱を設置します。
- ※2 積雪地仕様の2.5間の場合のみジーマ本体の中心に対して右寄りか左寄りに中間柱を設置します。
- () 内寸法は、幕板A仕様を示します。
- 外面デッキ前面の柱内々の底板は、6尺はL=2900、8尺はL=2400から切り出してください。

1. (つづき)

1-2 つづき

(2) バルコニー下・バルコニー前納まり (6尺+3尺、8尺+3尺) の場合

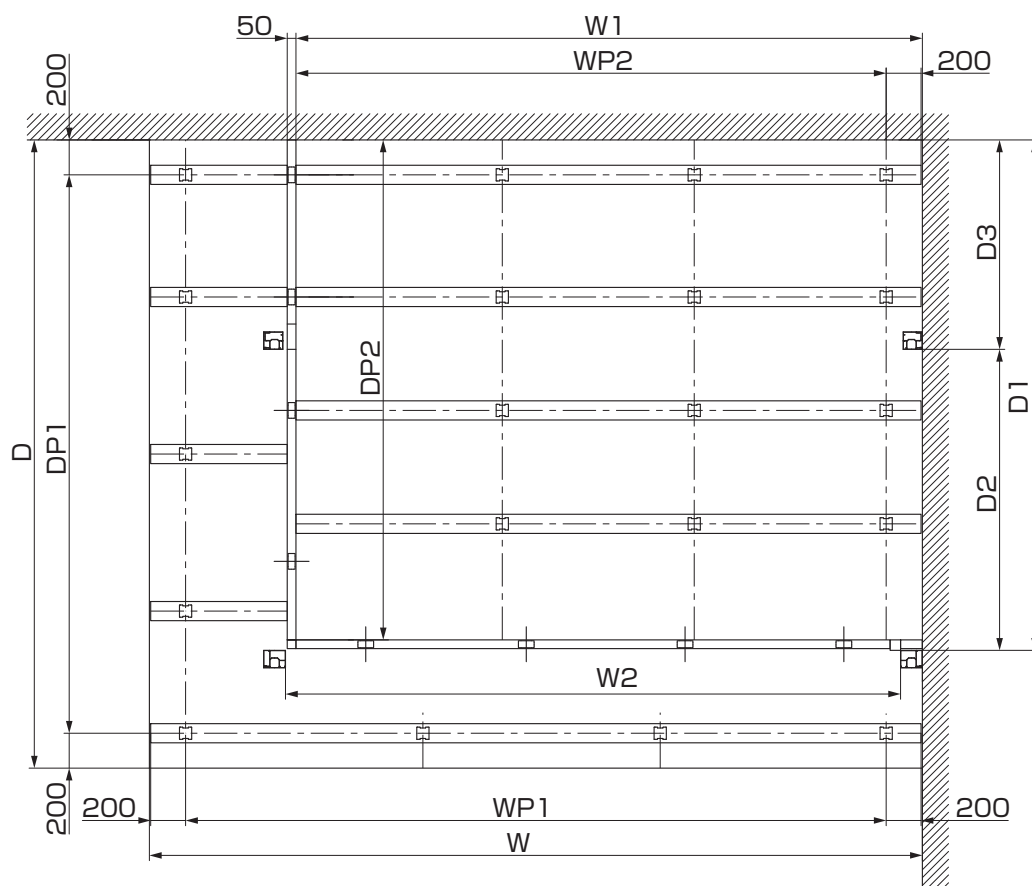


図1-7 基礎伏図

表1-13 間口寸法

	W	W1	W2	WP1 (ピッチ)	WP2 (ピッチ)
1.5間	3525	2680	2615	2 : 正面左側から1590、1520	2 : 正面左側から1320、1152.5
2.0間	4430	3590	3525	3 : 正面左側から1360、1360、1295	3 : 正面左側から1182.5、1100、1100
2.5間	5330	4500	4435	4 : 正面左側から1140、1340、1250、1185	3 : 正面左側から1300、1277.5、1715

表1-14 出幅寸法

	D	D1	D2	D3	DP1 (ピッチ)	DP2 (ピッチ)
6尺+3尺 (バルコニー下)	3300	2625	1725	900	4 : 躯体側から 900,650,650,700	4 : 躯体側から 200,900,650,815
8尺+3尺 (バルコニー下)	3900	3225	2325	900	5 : 躯体側から 900,700,600,500,800	5 : 躯体側から 200,900,700,600,765
6尺+3尺 (バルコニー前)※	3600	2925	1725	1200	4 : 躯体側から 700,900,900,700	5 : 躯体側から 200,700,650,650,665
8尺+3尺 (バルコニー前)※	4200	3525	2325	1200	5 : 躯体側から 700,900,600,900,700	5 : 躯体側から 200,700,900,900,765

※バルコニー前仕様のD3寸法はMAX1200mmです。

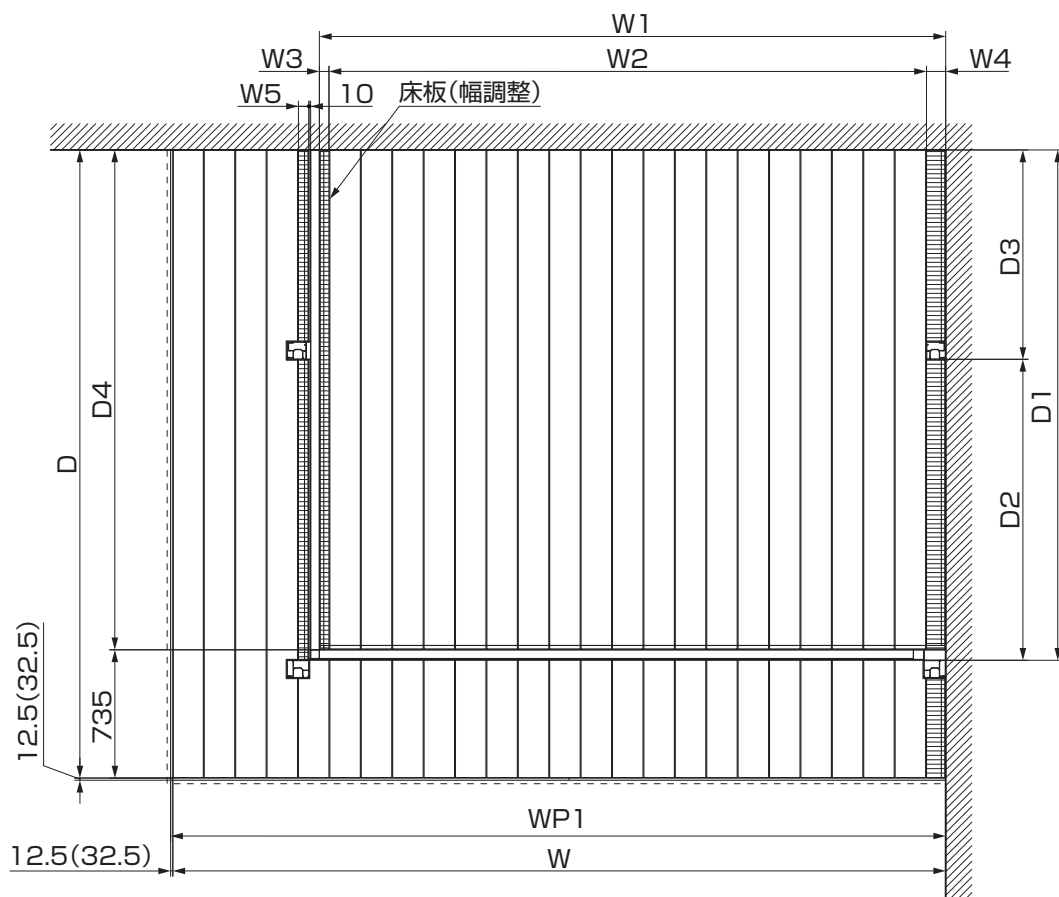


図1-8 デッキ割付け図

表1-15 間口寸法

	W	W1	W2	W3	W4	W5	WP1 (ピッチ)
1.5間	3525	2680	2525	50	105	65	1 : 3537.5 (3557.5)
2.0間	4430	3590	3425	55	110	60	2 : 正面左側から2282.5 (2302.5) 、2160
2.5間	5330	4500	4325	65	110	50	2 : 正面左側から2777.5 (2797.5) 、2565

表1-16 出幅寸法

	D	D1	D2	D3	D4
6尺+3尺 (バルコニー下)	3300	2625	1725	900	2565
8尺+3尺 (バルコニー下)	3900	3225	2325	900	3165
6尺+3尺 (バルコニー前)※	3600	2925	1725	1200	2865
8尺+3尺 (バルコニー前)※	4200	3525	2325	1200	3465

※バルコニー前仕様のD3寸法はMAX1200mmです。

ポイント

- () 内寸法は、幕板A仕様を示します。
- 外面デッキ前面の柱内々の底板は、L=2900から切り出してください。
- 8尺+3尺 (バルコニー下) 、8尺+3尺 (バルコニー前) の外デッキの床板は、大引の上で継いでください。

2. フラットデッキ仕様の場合

2-1 基本仕様の場合

(1) 基本納まり（6尺、8尺）の場合

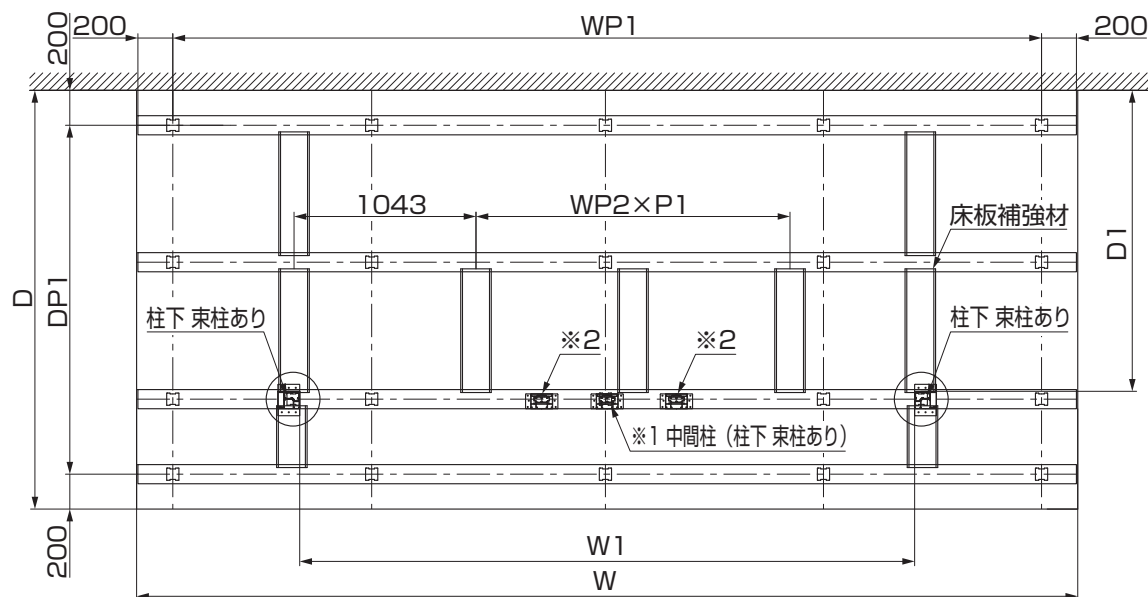


図2-1 基礎伏図

表 2-1 間口寸法

	W	W1	WP1 (ピッチ)	WP2 (ピッチ)	P1
1.5 間	4495	2615	3 : 正面左側から 1360、1360、1360	1	900
2.0 間	5395	3525	4 : 正面左側から 1140、1340、1250、1250	2	900
2.5 間	6295	4435	4 : 正面左側から 1590、1790、1250、1250	3	900
3.0 間	7195	5345	4 : 正面左側から 1590、1790、1700、1700	4	900

表 2-2 出幅寸法

	D	D1	DP1 (ピッチ)
6 尺	2400	1725	3 : 躯体側から 785、785、430
8 尺	2900	2325	4 : 躯体側から 725、725、725、325

ポイント

- 主柱の下には束柱を設置します。また連棟やエクシオールプラスの場合には連棟柱・エクシオールプラス柱の下に束柱を別途追加してください。
- ※1 標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合には中間柱を設置します。
- ※2 積雪地仕様の2.5間の場合のみジーマ本体の中心に対して右寄りか左寄りに中間柱を設置します。

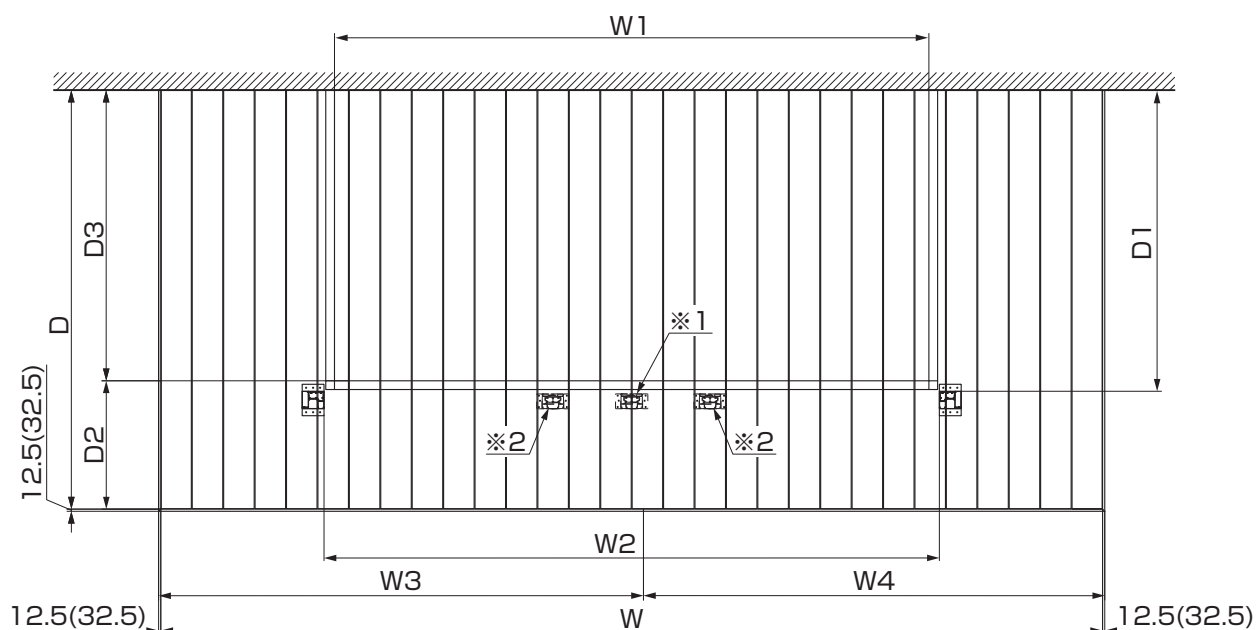


図2-2 デッキ割付け図

表2-3 間口寸法

	W	W1	W2	W3	W4
1.5間	4495	2495	2615	2282.5 (2302.5)	2237.5 (2257.5)
2.0間	5395	3405	3525	2777.5 (2797.5)	2642.5 (2662.5)
2.5間	6295	4315	4435	3542.5 (3562.5)	2777.5 (2797.5)
3.0間	7195	5225	5345	3650 (3670)	3570 (3590)

表2-4 出幅寸法

	D	D1	D2	D3
6尺	2400	1725	735	1665
8尺	2900	2325	635	2265

ポイント

- ※1 標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合には中間柱を設置します。
- ※2 積雪地仕様の2.5間の場合のみジーマ本体の中心に対して右寄りか左寄りに中間柱を設置します。
- () 内寸法は、幕板A仕様を示します。

2. (つづき)

2-1 つづき

(2) バルコニー下・バルコニー前納まり（6尺+3尺、8尺+3尺）の場合

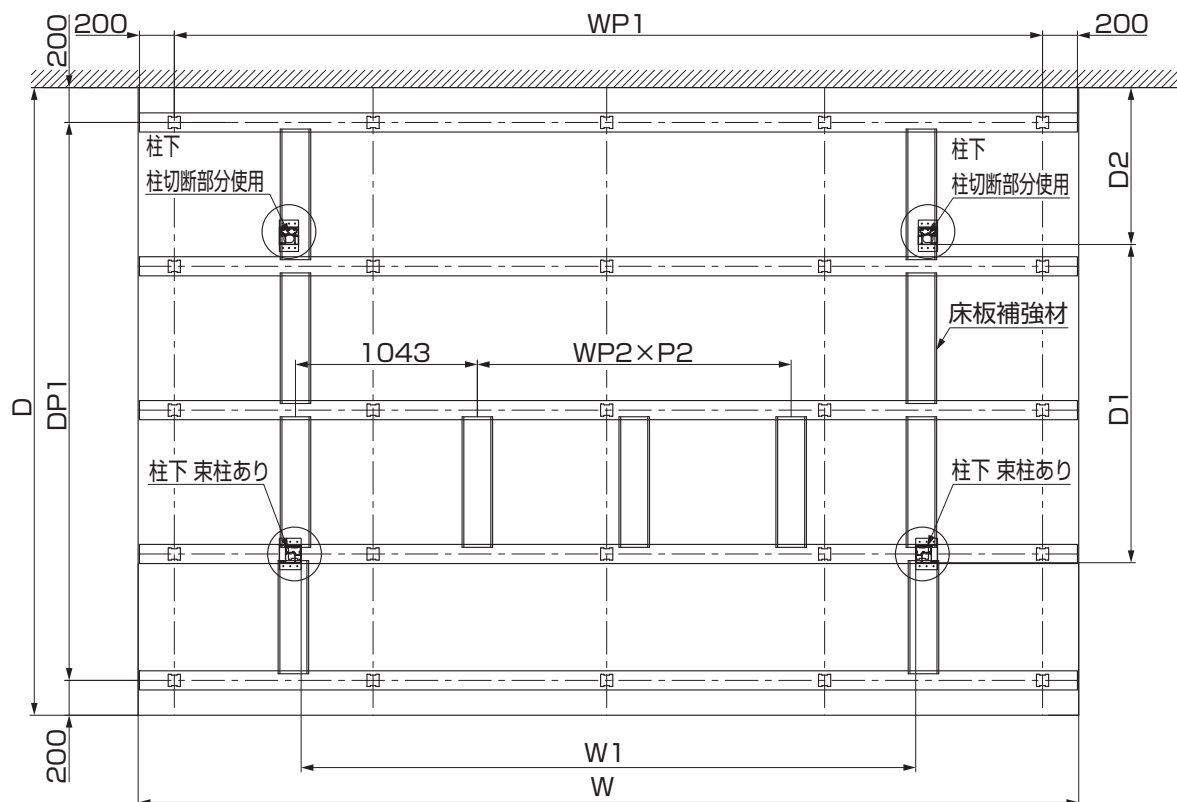


図2-3 基礎伏図

表 2-5 間口寸法

	W	W1	WP1 (ピッチ)	WP2 (ピッチ)	P1
1.5 間	4495	2615	3 : 正面左側から 1360、1360、1360	1	900
2.0 間	5395	3525	4 : 正面左側から 1140、1340、1250、1250	2	900
2.5 間	6295	4435	4 : 正面左側から 1590、1790、1250、1250	3	900

表 2-6 出幅寸法

	D	D1	D2	DP1 (ピッチ)
6尺+3尺 (バルコニー下)	3600	1825	900	4 : 躯体側から 825、825、825、725
8尺+3尺 (バルコニー下)	4200	2425	900	5 : 躯体側から 800、800、600、875、725
6尺+3尺 (バルコニー前)※	3600	1825	1200	5 : 躯体側から 700、700、700、675、425
8尺+3尺 (バルコニー前)※	4500	2425	1200	5 : 躯体側から 800、800、900、875、725

※バルコニー前仕様のD2寸法はMAX1200mmです。

ポイント

- 主柱の下には束柱を設置します。
- 3尺延長用柱の下には大引きが設置されません。「4.フラットデッキ仕様の施工 1-1 3尺延長柱基礎施工」を確認し3尺延長用柱の下に端材を束柱の代わりに設置してください。

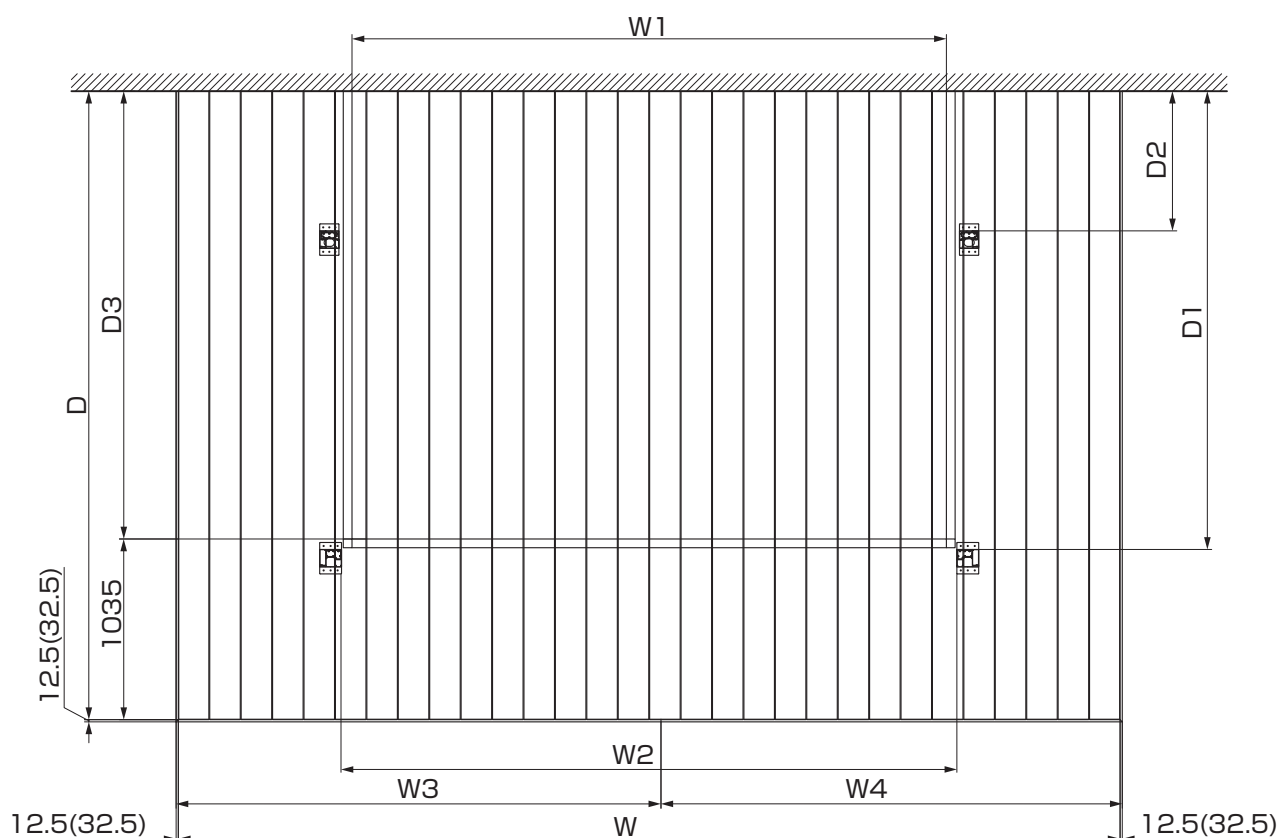


図2-4 デッキ割付け図

表2-7 間口寸法

	W	W1	W2	W3	W4
1.5間	4495	2495	2615	2282.5 (2302.5)	2237.5 (2257.5)
2.0間	5395	3405	3525	2777.5 (2797.5)	2642.5 (2662.5)
2.5間	6295	4315	4435	3542.5 (3562.5)	2777.5 (2797.5)

表2-8 出幅寸法

	D	D1	D2	D3	D4
6尺+3尺 (バルコニー下)	3600	2625	800	1035	2565
8尺+3尺 (バルコニー下)	4200	3225	800	1035	3165
6尺+3尺 (バルコニー前)※	3600	2925	1100	735	2865
8尺+3尺 (バルコニー前)※	4500	3525	1100	1035	3465

※バルコニー前仕様のD2寸法はMAX1100mmです。

ポイント

- () 内寸法は、幕板A仕様を示します。
- 8尺+3尺 (バルコニー下)、8尺+3尺 (バルコニー前) の外デッキの床板は、大引の上で継ぎてください。

2. (つづき)

2-2 入隅仕様の場合 ※図は右入隅の場合を示します。

(1) 基本納まり（6尺、8尺）の場合

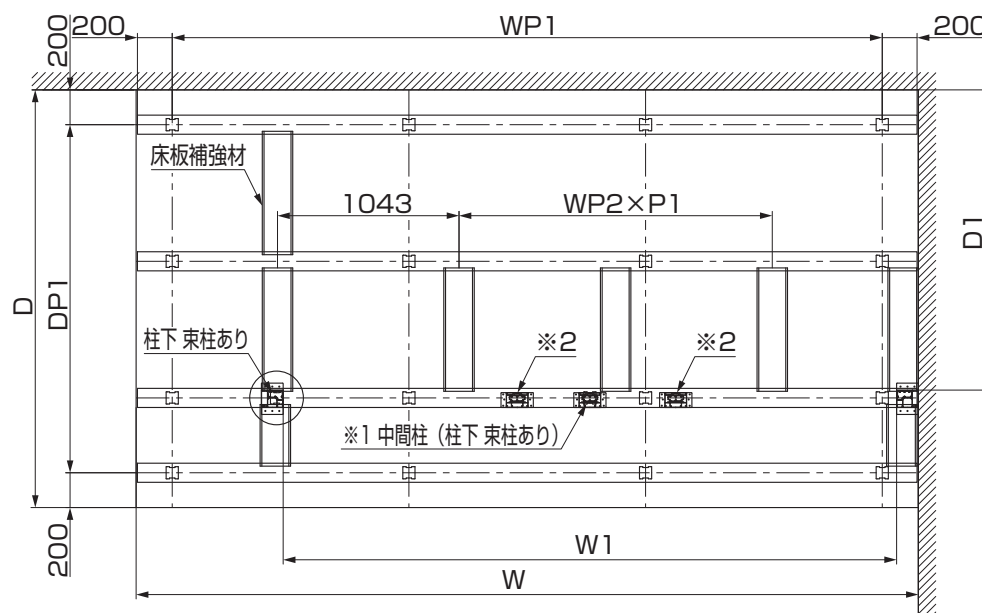


図2-5 基礎伏図

表 2-9 間口寸法

	W	W1	WP1 (ピッチ)	WP2 (ピッチ)	P1
1.5 間	3590	2615	2 : 正面左側から 1590、1585	1	900
2.0 間	4495	3525	3 : 正面左側から 1360、1360、1360	2	900
2.5 間	5395	4435	4 : 正面左側から 1140、1340、1250、1250	3	900
3.0 間	6295	5345	4 : 正面左側から 1590、1790、1250、1250	4	900

表 2-10 出幅寸法

	D	D1	DP1 (ピッチ)
6 尺	2400	1725	3 : 躯体側から 785、785、430
8 尺	2900	2325	4 : 躯体側から 725、725、725、325

ポイント

- 主柱・中間柱・連棟柱・エクシオールプラス柱の下に束柱を設置してください。
束柱が無いと柱部の床板が沈み、パネルの開閉に支障をきたす場合があります。
- ※1 標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合には中間柱を設置します。
- ※2 積雪地仕様の2.5間の場合のみジーマ本体の中心に対して右寄りか左寄りに中間柱を設置します。

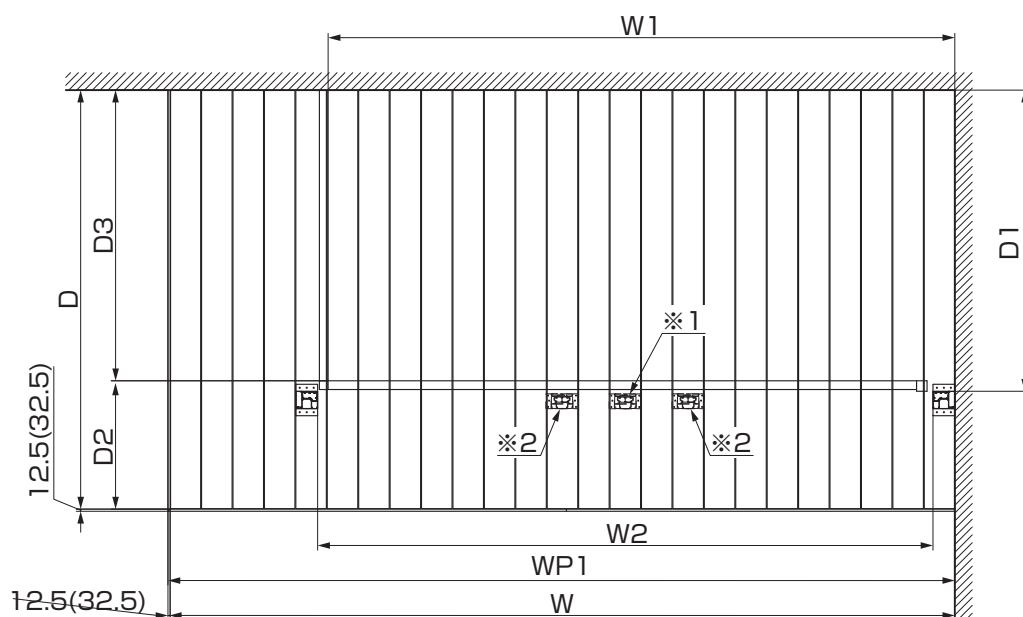


図2-6 デッキ割付け図

表2-11 間口寸法

	W	W1	W2	WP1
1.5間	3590	2680	2615	1 : 3602.5 (3622.5)
2.0間	4495	3590	3525	2 : 2282.5 (2302.5)、2225
2.5間	5395	4500	4435	2 : 2777.5 (2797.5)、2630
3.0間	6295	5410	5345	2 : 3182.5 (3202.5)、3125

表2-12 出幅寸法

	D	D1	D2	D3
6尺	2400	1725	735	1665
8尺	2900	2325	635	2265

ポイント

- ※1 標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合には中間柱を設置します。
- ※2 積雪地仕様の2.5間の場合のみジーマ本体の中心に対して右寄りか左寄りに中間柱を設置します。
- () 内寸法は、幕板A仕様を示します。

2. (つづき)

2-2 つづき

(2) バルコニー下・バルコニー前納まり (6尺+3尺、8尺+3尺) の場合

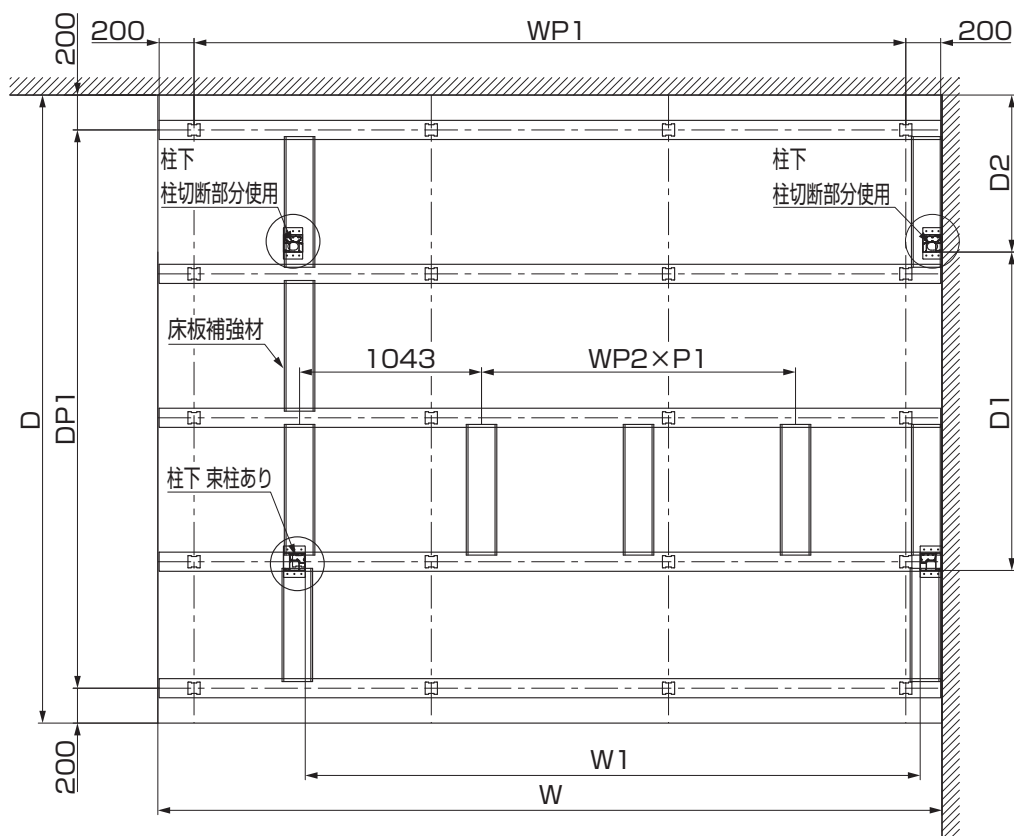


図2-7 基礎伏図

表 2-13 間口寸法

	W	W1	WP1 (ピッチ)	WP2 (ピッチ)	P1
1.5 間	3590	2615	2 : 正面左側から 1590、1585	1	900
2.0 間	4495	3525	3 : 正面左側から 1360、1360、1360	2	900
2.5 間	5395	4435	4 : 正面左側から 1140、1340、1250、1250	3	900

表 2-14 出幅寸法

	D	D1	D2	DP1 (ピッチ)
6尺+3尺 (バルコニー下)	3600	1825	900	4 : 躯体側から 825、825、825、725
8尺+3尺 (バルコニー下)	4200	2425	900	5 : 躯体側から 800、800、600、875、725
6尺+3尺 (バルコニー前)※	3600	1825	1200	5 : 躯体側から 700、700、700、675、425
8尺+3尺 (バルコニー前)※	4500	2425	1200	5 : 躯体側から 800、800、900、875、725

※バルコニー前仕様のD2寸法はMAX1200mmです。

ポイント

- 主柱・3尺延長用柱の下に束柱 (もしくはそれに代わるもの) を設置してください。
束柱が無いと柱部の床板が沈み、パネルの開閉に支障をきたす場合があります。

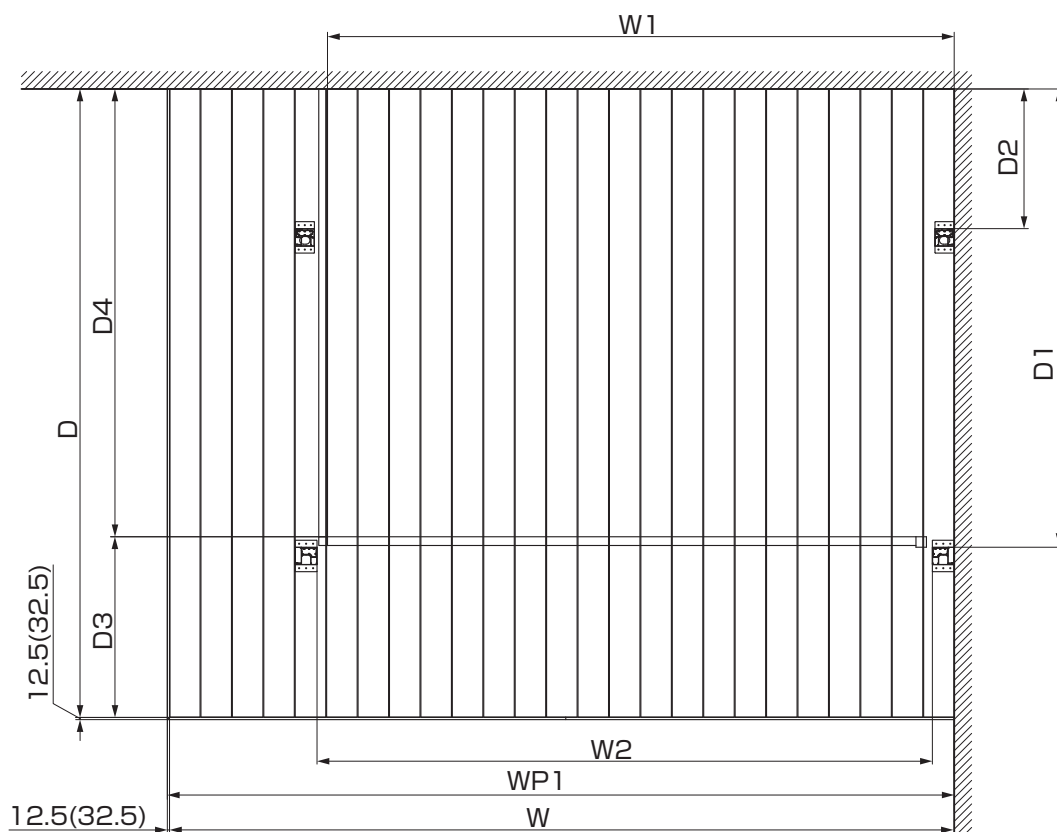


図2-8 デッキ割付け図

表2-15 間口寸法

	W	W1	W2	WP1
1.5間	3590	2680	2615	1 : 3602.5 (3622.5)
2.0間	4495	3590	3525	2 : 2282.5 (2302.5)、2225
2.5間	5395	4500	5345	2 : 2777.5 (2797.5)、2630

表2-16 出幅寸法

	D	D1	D2	D3	D4
6尺+3尺 (バルコニー下)	3600	2625	800	1035	2565
8尺+3尺 (バルコニー下)	4200	3225	800	1035	3165
6尺+3尺 (バルコニー前)※	3600	2925	1100	735	2865
8尺+3尺 (バルコニー前)※	4500	3525	1100	1035	3465

※バルコニー前仕様のD2寸法はMAX1100mmです。

ポイント

- () 内寸法は、幕板A仕様を示します。
- 8尺+3尺 (バルコニー下)、8尺+3尺 (バルコニー前) の外デッキの床板は、大引の上で継いでください。

3 作業を行う前に

1. 水盛遣方・水系張り

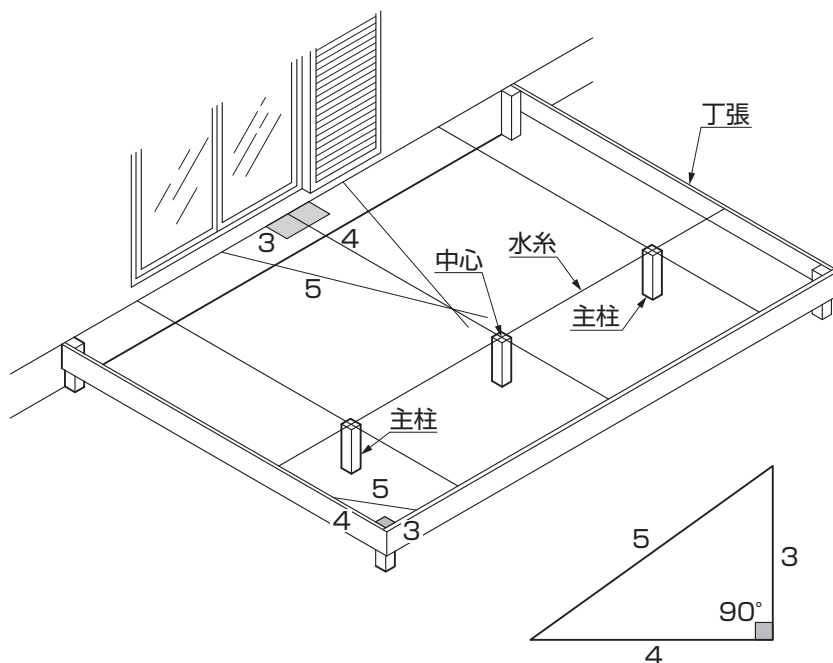


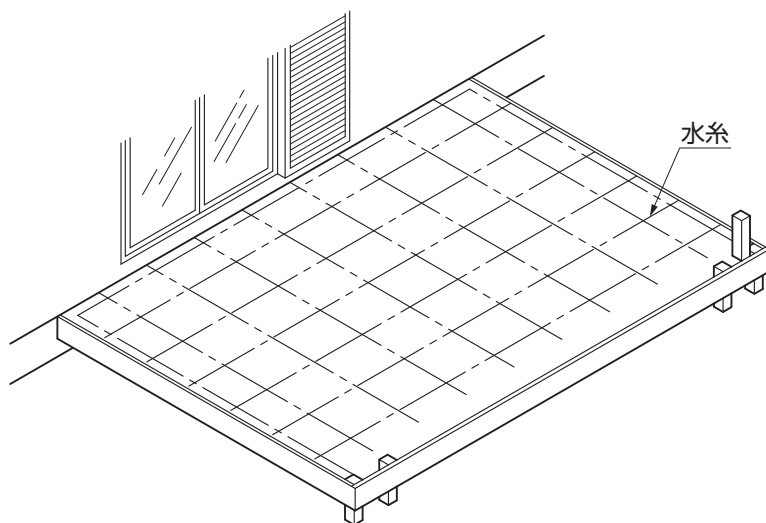
図1-1 直角出し寸法

- ① 本体総合編 (E273) を参照して、ジーマ本体の取付け位置とジーマ面床レベルを決めてください。
- ② 前面・両側面に丁張を組んでください。
- ③ 躯体に柱寸法の印を付け、図1-1の直角出し寸法の方法で直角を出し、本体の中心位置出しをしてください。
- ④ 本体の中心の位置から、両側の主柱位置を決めてください。

ポイント

- 丁張の位置はデッキ面より正面・両側面ともやや大きめに決めてください。
- 丁張は水平器等で水平を取ってください。
- 各コーナーの直角を出してください。

2. 基礎石配置



- ① 前面・両側面の水系に寸法出しをし、「2 基本寸法」を参照して、基礎石の位置を決定してください。

ポイント

- 本体の仕様位置によっては、柱と基礎石が干渉する場合があります。本体の施工前にその事を確認の上、必要に応じて基礎を移動してください。

4 フラットデッキ仕様の施工

1. デッキの施工

- 1-1 3尺延長柱基礎施工** ※3尺延長用柱下の束柱は、デッキ上の3尺延長用柱寸法を確保して切断した残部材を使用します。
※デッキ基礎施工する際に、3尺延長用柱の準備をお願いします。

(1) 高さ確認

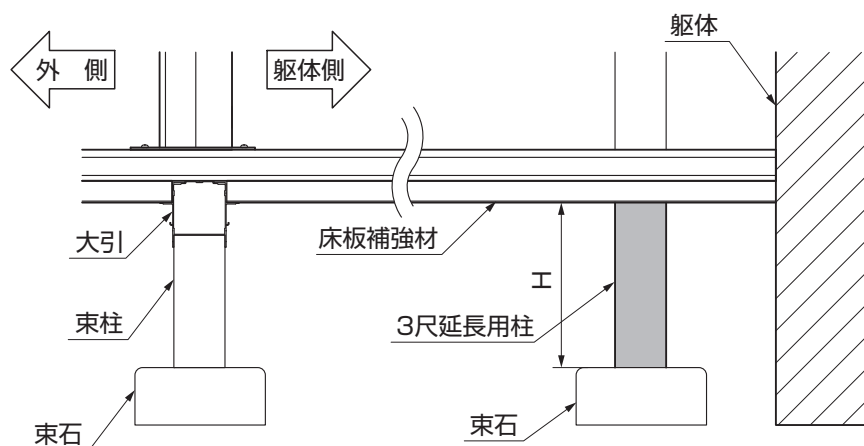


図1-1

- ①3尺延長用柱を施工する位置の束石と床板補強材裏側までの高さを測定してください。

(2) 3尺延長用柱の加工

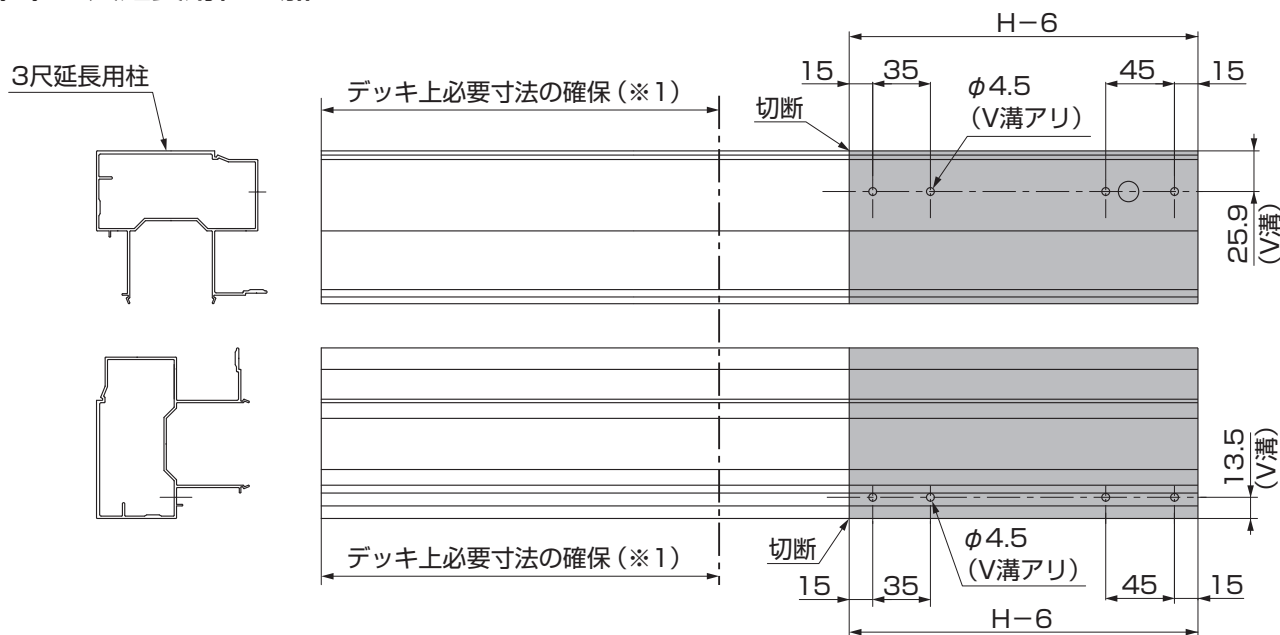


図1-2

ポイント

- 3尺延長用柱を切断する際は、確実にデッキ上必要寸法 (※1) を確保した上で切断してください。
- 残部材寸法が測定寸法に達しない場合は、束石等で現場調整してください。
- 残部材寸法はロング束柱仕様には対応していません。

- ①3尺延長用柱を測定値－6mmで切断してください。
②3尺延長用柱にφ4.5の穴加工をしてください。

1. (つづき)

1-1 つづき

(3) 3尺延長用柱の組立て

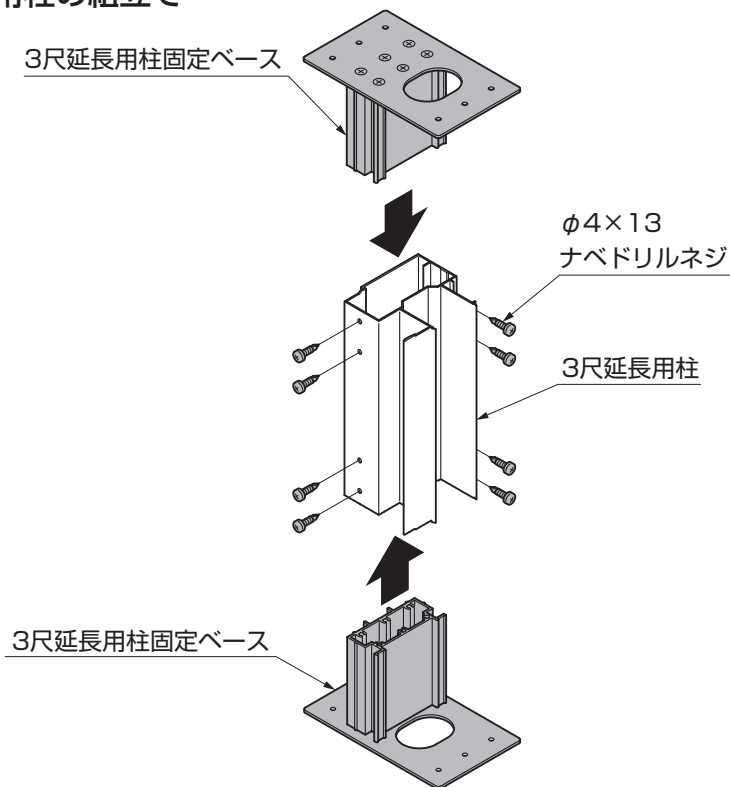


図1-3

①3尺延長用柱固定ベースプレートを切断した3尺延長用柱に「φ4×13ナベドリルネジ」で取付けてください。

(4) 3尺延長用柱の取付け

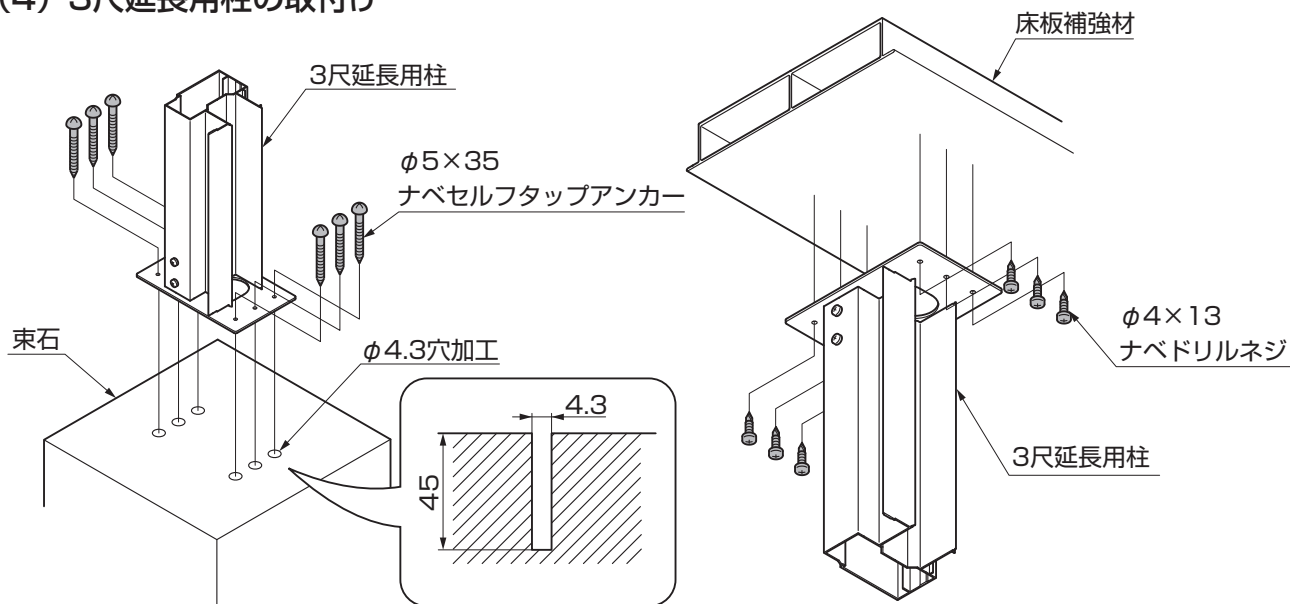


図1-4

図1-5

- ①束石にφ4.3、深さ45の穴加工後、3尺延長柱を「φ5×35ナベセルフタップアンカー」で固定してください。
- ②3尺延長用柱を床板補強材に「φ4×13ナベドリルネジ」で取付けてください。

1-2 床板補強材の取付け

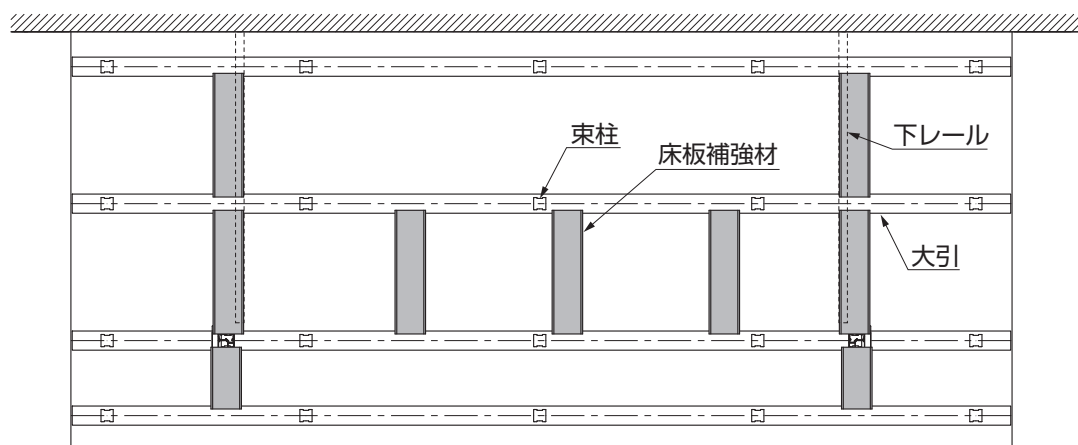


図1-6

ポイント

- 基礎の施工、束柱、根がらみ、大引の取付けは、「樹の木Ⅲ（E203）」を参照してください。
- 大引き、束柱の配置は「2. 基本寸法」を参照してください。

- ①床板補強材の配置は、図1-1、「2. 基本寸法」を参照して確認してください。
- ②床板補強材の取付けは「樹の木Ⅲ（E203）」を参照して取付けてください。

1-3 デッキの張付け

(1) 基本の場合

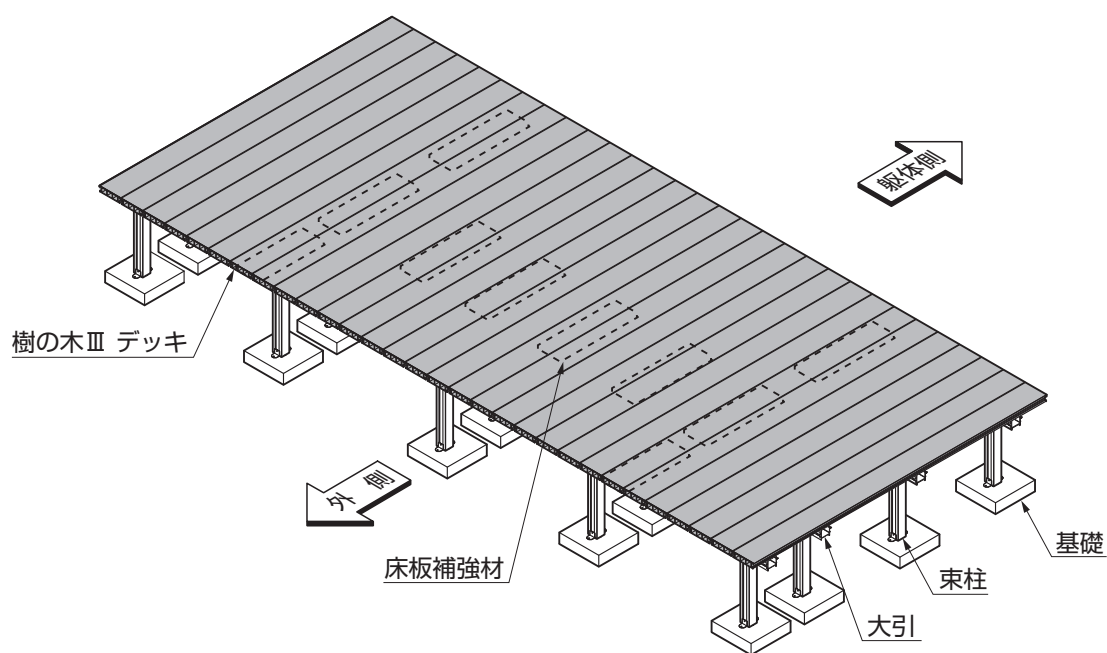


図1-7

- ①デッキの取付けは「2. 基本寸法」と「樹の木Ⅲ（E203）」を参照して取付けてください。
- ②入隅1.5間は、「(2) 入隅の場合」を参照して取付けてください。

1. (つづき)

1-2 つづき

(2) 入隅の場合 ※入隅タイプ1.5間の場合の作業です。

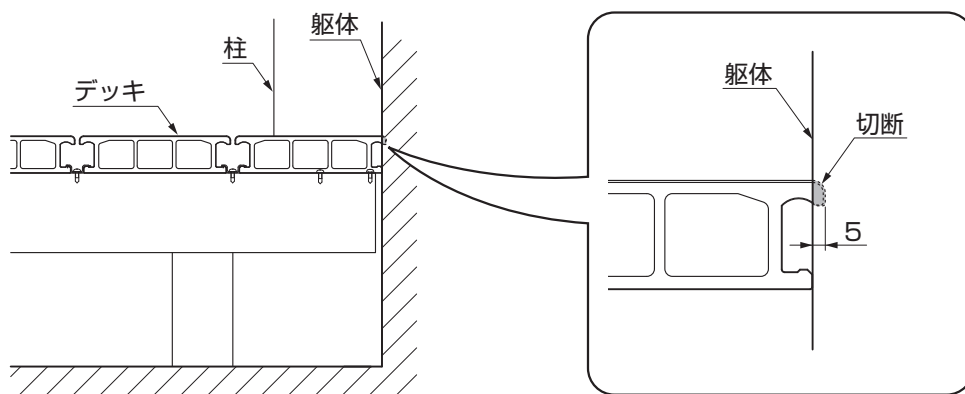


図1-8

①躯体と隣接するデッキを5mm切断してください。

4

2. 本体の施工 ※図は右側を示します。左側は図と対象です。

2-1 主柱固定ベースの取付け

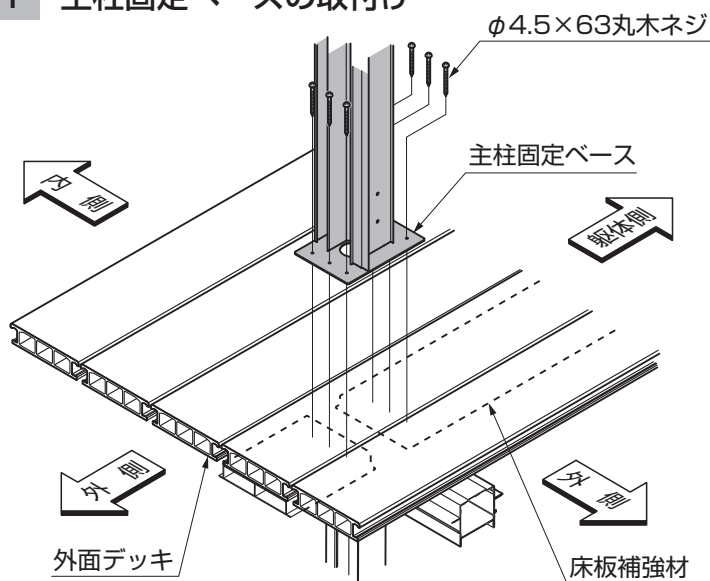


図2-1

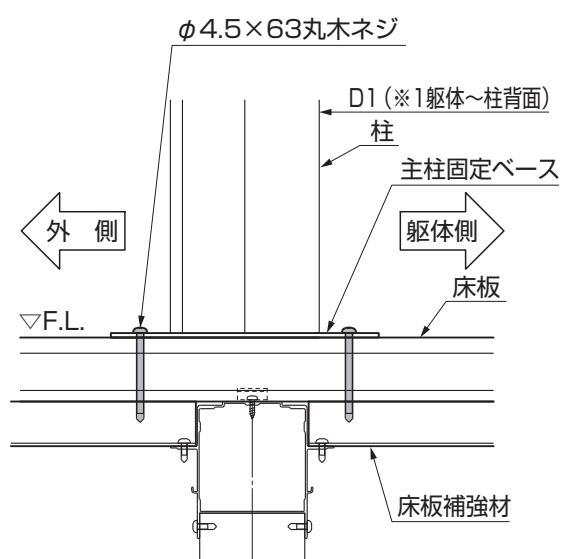


図2-2

①主柱固定ベースをデッキに「φ4.5×63丸木ネジ」で取付けてください。

ポイント

- ベースプレートの固定は下レールの位置が決まるまで仮固定としてください。
- 柱の取付けは、「自然浴家族 ジーマ ー本体編－ (E273)」を参照してください。

2-2 3尺延長用柱固定ベースの取付け

(1) 基本タイプ、入隅タイプの入隅ではない側の取付け

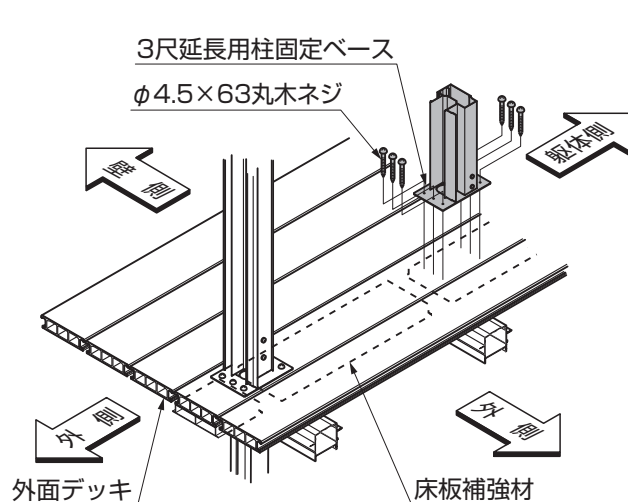


図2-3

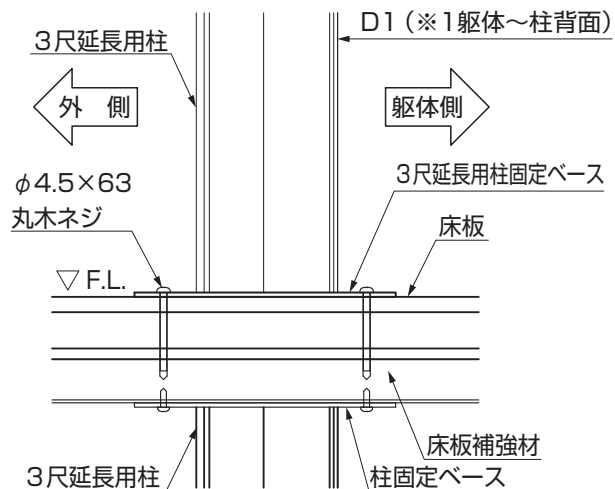


図2-4

①3尺延長用柱固定ベースをデッキに「φ4.5×63丸木ネジ」で取付けてください。

ポイント

- ベースプレートの固定は下レールの位置が決まるまで仮固定としてください。
- 柱の取付けは、「自然浴家族 ジーマ ー施工補助部材ー（E270）」を参照してください。
- D1寸法は、「2. 基本寸法」を参照してください。（※1）

(2) 入隅タイプの入隅側の取付け

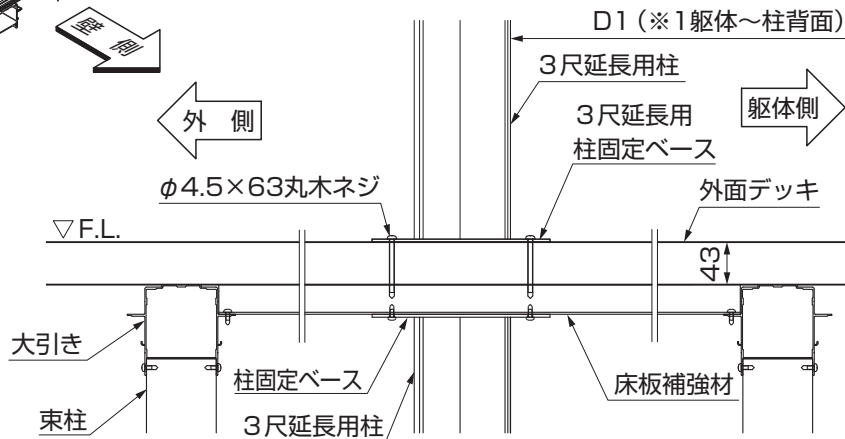
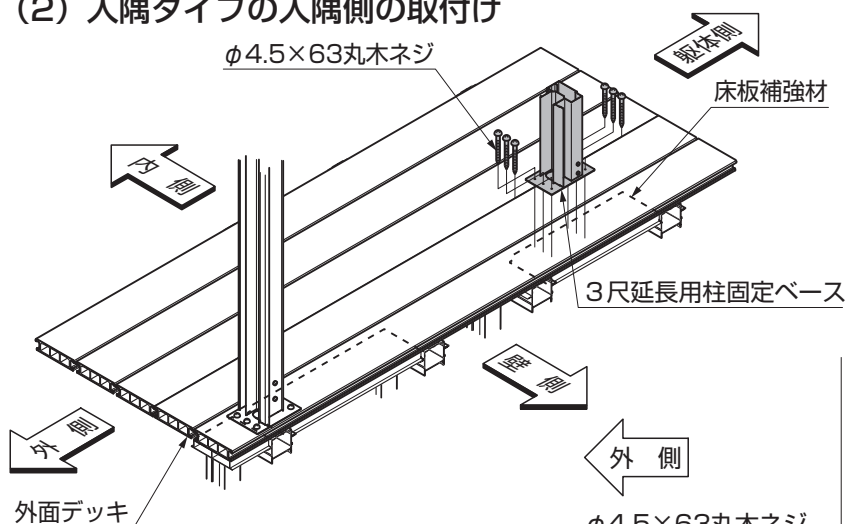


図2-5

①3尺延長用柱固定ベースをデッキに「φ4.5×63丸木ネジ」で取付けてください。

2. (つづき)

2-3 下レールの取付け

(1) 下レールの取付け

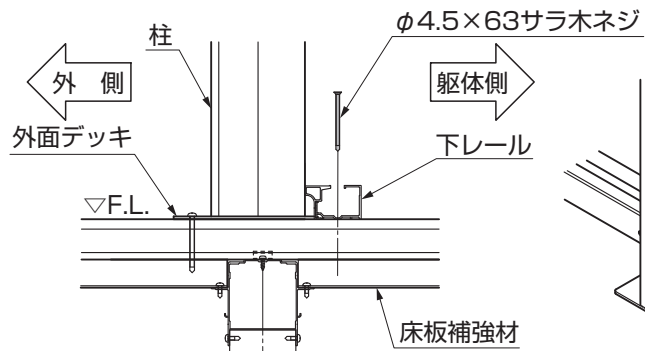


図2-6

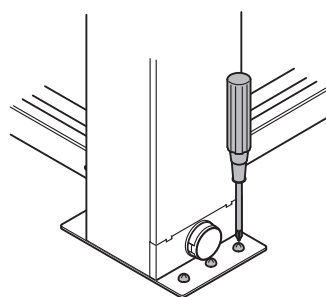


図2-7

- ①下レールを外面デッキに「φ4.5×63サラ木ネジ」で取付けてください。

ポイント

- 下レールの位置出し固定は、「自然浴家族 ジーマー 本体編ー(E273) 下レールの取付け」を参照してください。
- 丸木ネジ、サラ木ネジを間違えないよう施工してください。

- ②仮固定していた柱を本締めして固定してください。

(2) 目地塞ぎ材の取付け **オプション** ※フラットデッキの場合のみオプションです。

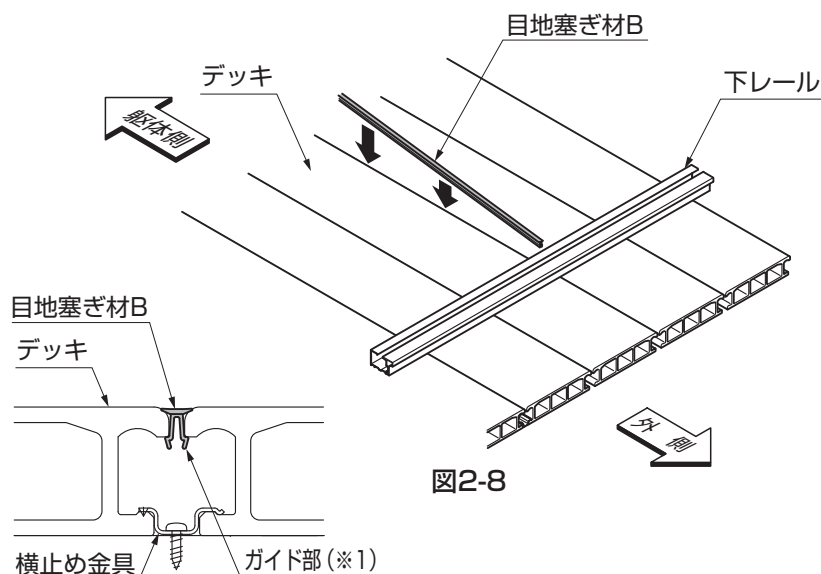


図2-8

図2-9

- ①下レールから躯体側の長さを測定し、同寸法に目地塞ぎ材Bを切断してください。
- ②下レール側からはめ込んで行ってください。幅調整床板部も同様に施工します。

ポイント

- 入りにくい場合はガイド部(※1)を指でせまくしながらはめ込んでください。
- 目地塞ぎ材は下レールより外側には付けしないでください。

(3) 下レールのシーリング

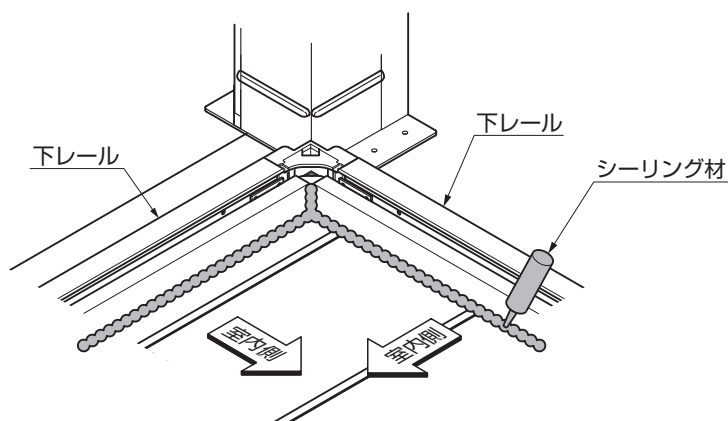


図2-10

- ①下レール内側へシーリング処理を行なってください。

ポイント

- 指定の箇所には必ずシーリングをしてください。

5 内面デッキ立ち上げ仕様の施工

1. 内面デッキの施工

1-1 大引きの取付け

(1) 束柱の加工

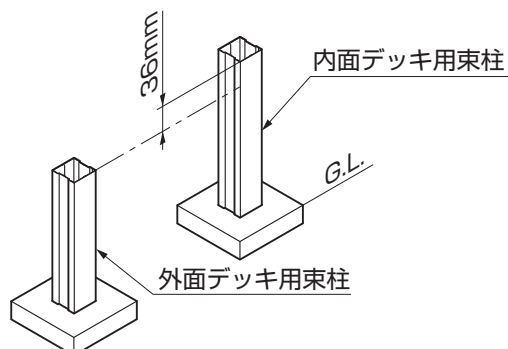


図1-1 F.L.の高さがG.L.+514mm未満の場合

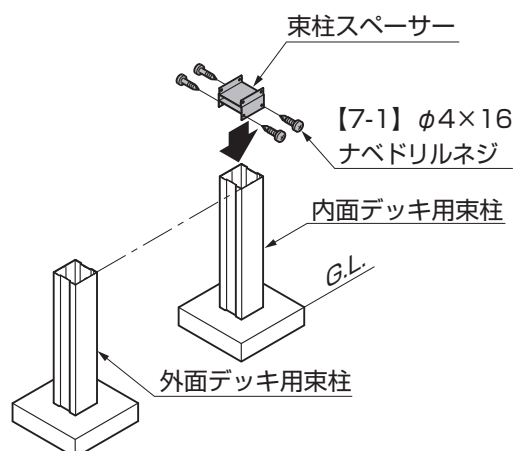


図1-2 F.L.の高さがG.L.+514mm以上の場合

ポイント

●束柱、根がらみの取付けは「樹の木皿取付説明書(E203)」を参照してください。

①外面デッキ用、内面デッキ用の束柱を切断するなどして内面デッキの高さを調整してください。

ポイント

●外面デッキがG.L.+514mm未満の場合は内面デッキは外面デッキよりも36mm高くなるよう、束柱の長さを調整してください。

●外面デッキがG.L.+514mm以上の場合は、内面、外面の束柱の高さが揃うように束柱の長さを調整し、内面デッキ部の束柱には束柱スペーサーを取付けてください。

(2) 大引きの加工



図1-3 基本仕様

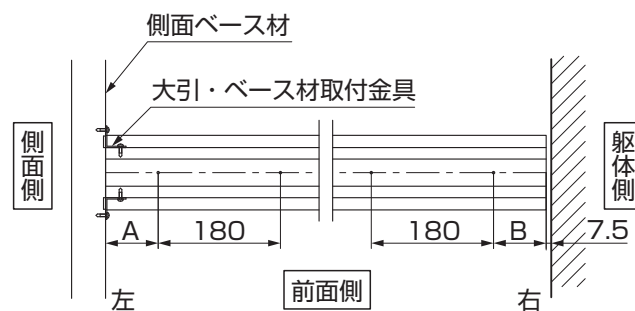


図1-4 入隅仕様

表1-1 大引き寸法

	L寸法
1.5間	2680
2.0間	3580
2.5間	4300
連1.5間	2700
連2.0間	3600
連2.5間	4500

表1-2 内面デッキ 大引き切出し寸法

	内面デッキ 大引き寸法	大引き組合わせ		寸法(大引き端部~穴)		大引き切断寸法	
		①	②	A	B	左	右
基本1.5間	2495	1.5間	—	77.5	77.5	92.5	92.5
基本2.0間	3405	2.0間	—	82.5	82.5	87.5	87.5
基本2.5間	4315	連2.5間	—	87.5	87.5	102.5	82.5
基本3.0間	5225	1.5間	連1.5間	92.5	92.5	77.5	77.5
入隅1.5間	2672.5	2.0間	—	52.5	100	117.5	790
入隅2.0間	3582.5	2.5間	—	57.5	105	112.5	605
入隅2.5間	4492.5	1.5間	連1.5間	67.5	105	102.5	785
入隅3.0間	5402.5	1.5間	連2.0間	67.5	115	102.5	775

①大引きを表1-2を参照して切断してください。

ポイント

●大引きを連棟して使用する場合は、連結後の両端からそれぞれ切断してください。

1. (つづき)

1-1 つづき

【8-1】 $\phi 4 \times 16$ ナベドリルネジ

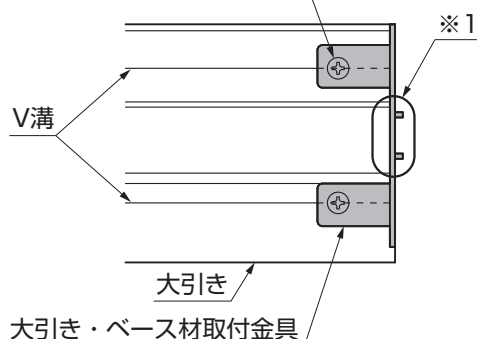


図1-5

②大引きに大引・ベース材取付金具を【8-1】で取付けてください。

ポイント

●大引き・ベース材取付金具は穴と大引きのV溝を合わせ、金具中央部のフィンの分(※1)だけが大きく端面から出っ張るように取付けてください。(図1-5参照)

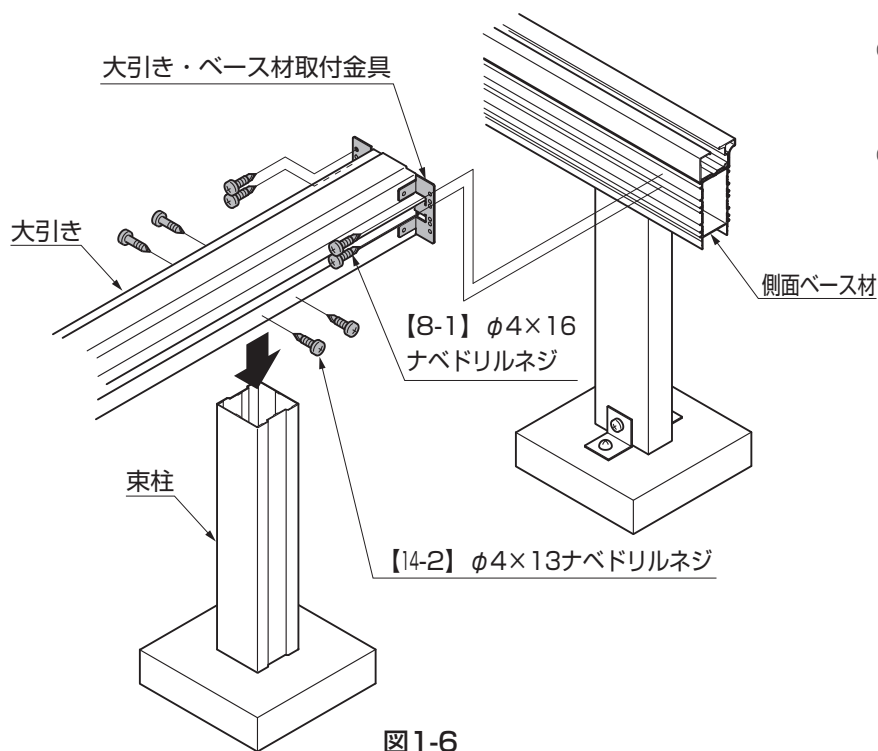


図1-6

③大引きを束柱の上に置き、側面ベース材に大引・ベース材取付金具を【8-1】で取付けてください。

④大引きと束柱を【14-2】で固定してください。

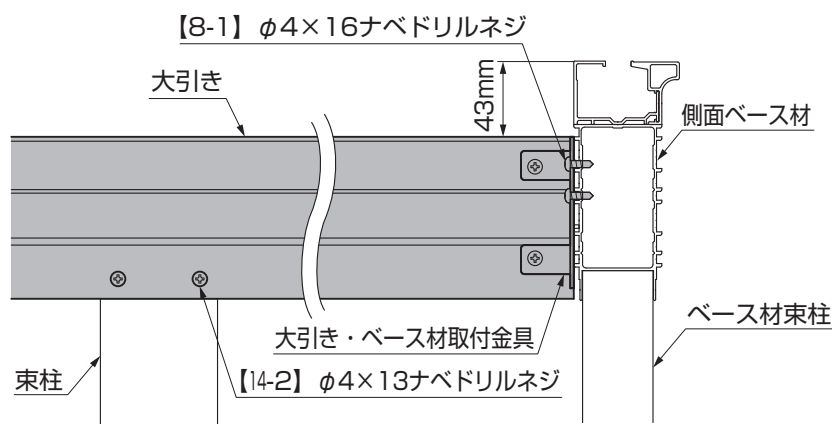


図1-7

ポイント

●大引き・ベース材取付金具を側面ベース材に取付ける際は、取付ける位置に注意してください。

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

1. (つづき)

1-2 内面デッキの張付け

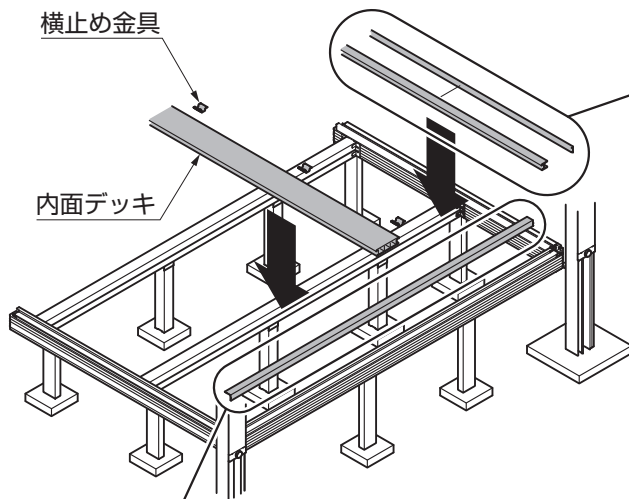


図1-8 基本タイプ

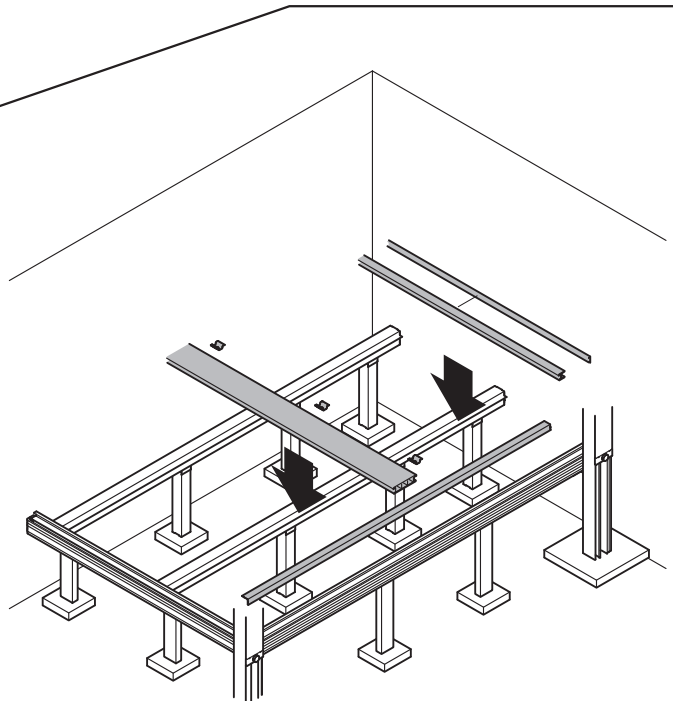
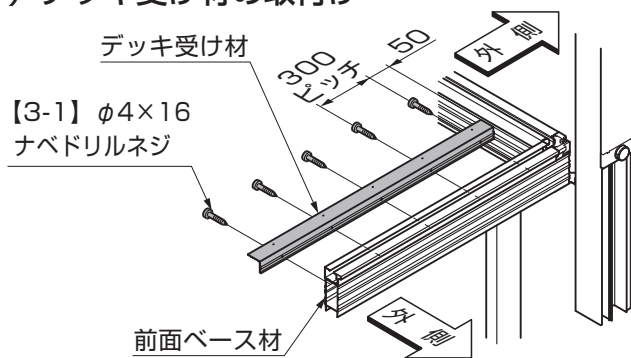


図1-9 入隅タイプ

(1) デッキ受け材の取付け



①デッキ受け材を前面ベース材に【3-1】で取付けてください。

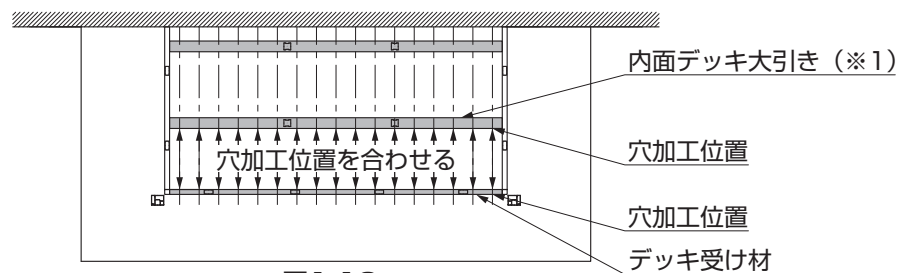
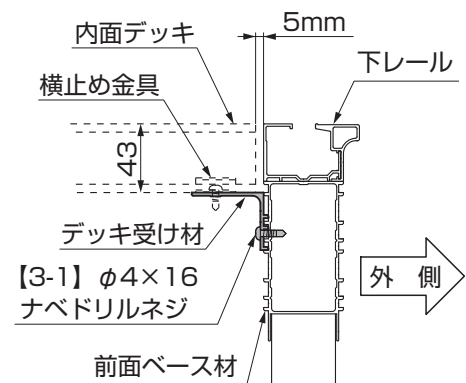


図1-10

ポイント

- デッキ受け材の加工穴が配置済みの内面デッキ大引き(※1)の加工穴と位置が揃うように両端より切断してください(図1-10参照)
- デッキ受け材を2本並べて使用する場合は、並べて取付けた部材の両端からそれぞれ切断してください。

(2) 幅調整床板の加工

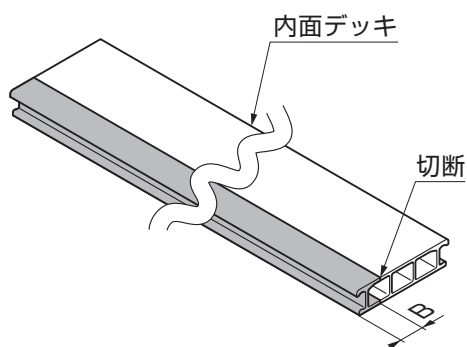
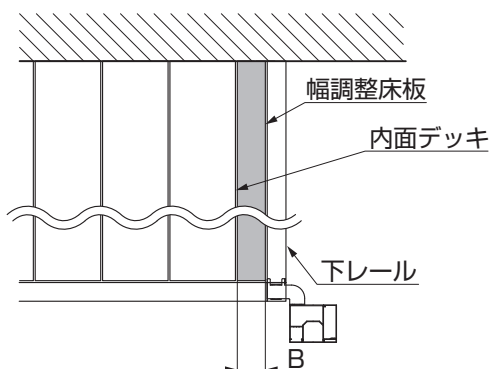


図1-11

①図1-11、表1-3、表1-4を参照して、両端に取付けるデッキを幅調整床板に加工してください。

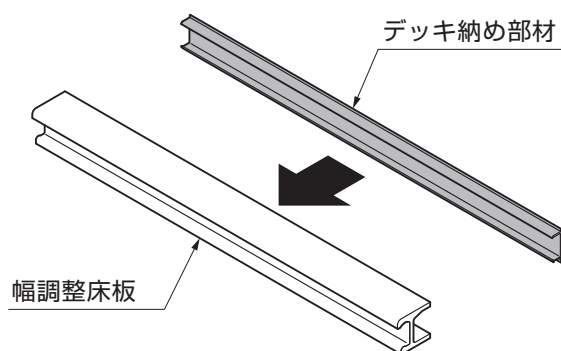


図1-12

②デッキ納め部材を幅調整床板にはめ込んでください。(図1-12参照)

ポイント

●デッキ納め部材は図1-13を参照して、必要な場合には必ず取付けてください。

表1-3

①	②	③
A-5mm+デッキ納め部材 ネジ止め	A-10mm+デッキ納め部材 ネジ止め	A-5mm+ネジ止め

A: 見切り材を含む調整幅
B: 床板縦切りW寸法

表1-4 内面デッキ 幅調整床板加工寸法

	(左) 幅調整床板寸法			(右) 幅調整床板寸法		
	A寸法	B寸法	固定方法	A寸法	B寸法	固定方法
基本1.5間	75	70	③	75	70	③
基本2.0間	80	75	③	80	75	③
基本2.5間	85	80	①	85	80	①
基本3.0間	90	85	①	90	85	①
入隅1.5間	50	45	①	105	100	①
入隅2.0間	55	50	①	110	105	①
入隅2.5間	65	60	①	110	105	①
入隅3.0間	65	60	①	120	115	③

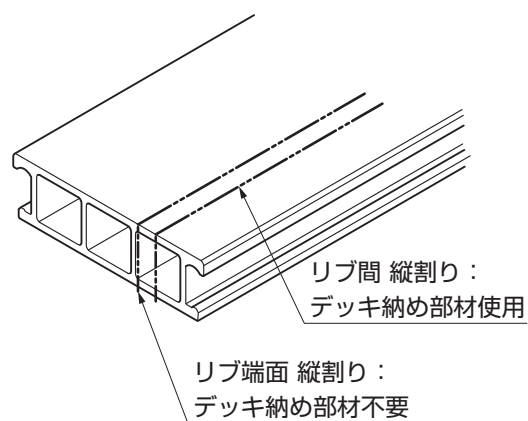
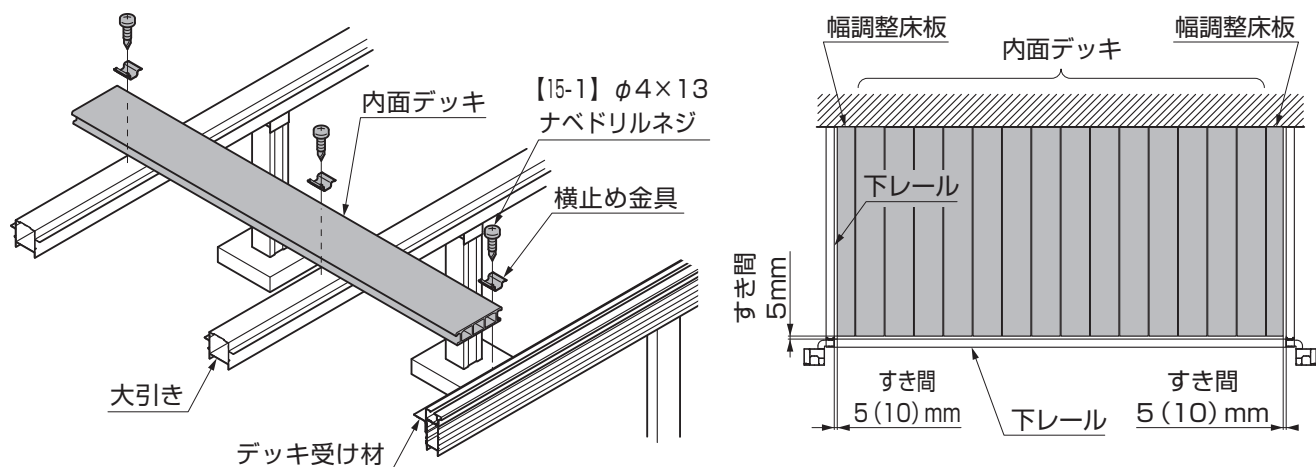


図1-13

1. (つづき)

(3) デッキの張付け



- ①横止め金具を大引きおよびデッキ受け材【15-1】で取付けて、内面デッキを取付けてください。
- ②横止め金具を大引きおよびデッキ受け材に【15-1】で取付けて、幅調整床板を取付けてください。

ポイント

- 内面デッキと前面下レールのすき間を5mm程度あけて張込んでください。

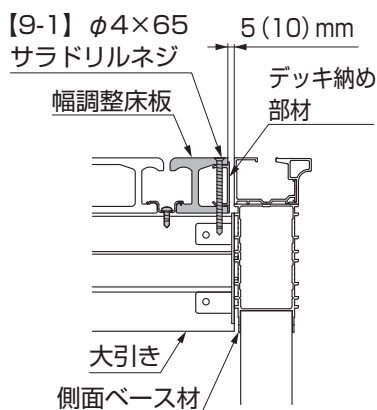


図1-14 基本タイプ
デッキ納め部材を使用する場合

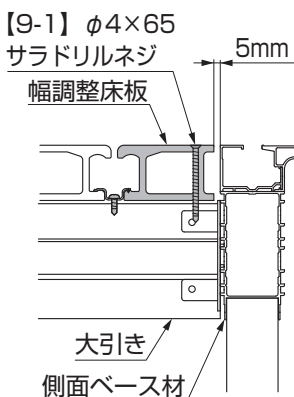
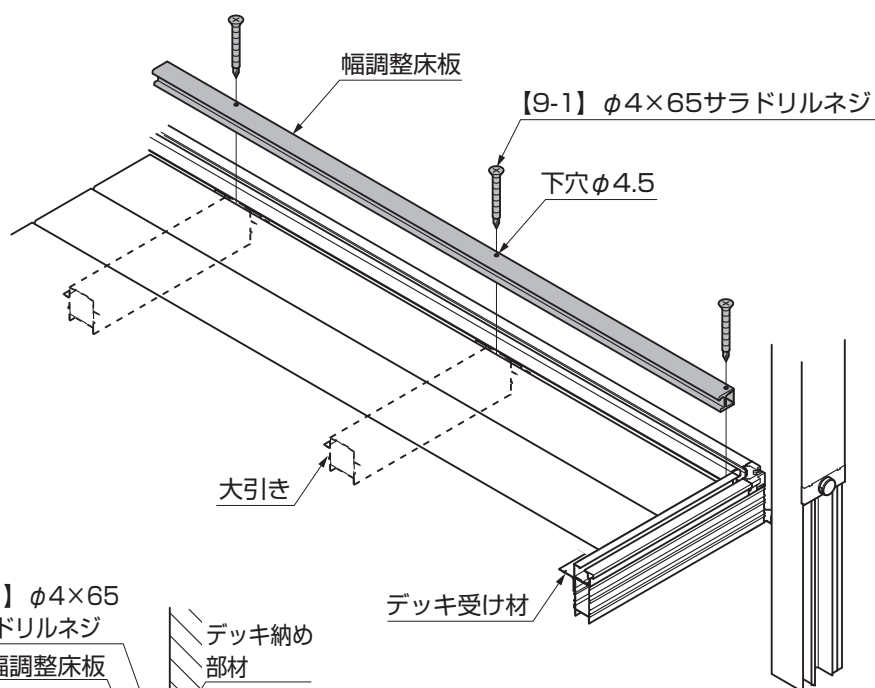


図1-15 基本タイプ
床板直留めの場合

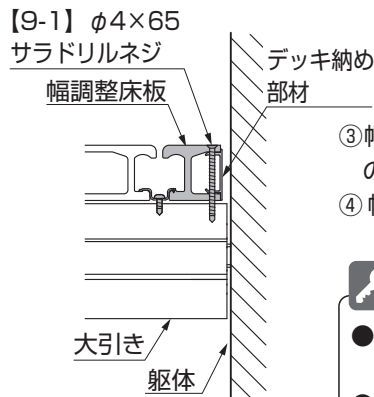


図1-16 入隅タイプ

- ③幅調整床板は表1-3を参照し固定する位置にφ4.5の下穴とφ10のサラ取りをしてください。
- ④幅調整床板を大引き、正面のデッキ受け材に【9-1】で取付けてください。

ポイント

- 幅調整床板と側面下レールのすき間を5(10)mm程度あけて張込んでください。
- 幅調整床板を固定するとき、1つ前の床板とのかの横止め金具は、仮止め程度にゆるめに固定し、幅調整床板をはめ込んだ後に本締めをしてください。

1-3 目地塞ぎ材B、見切り材の取付け

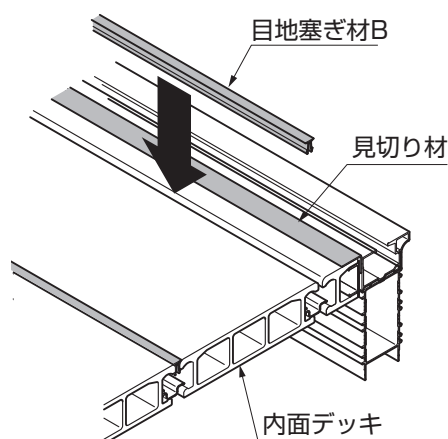
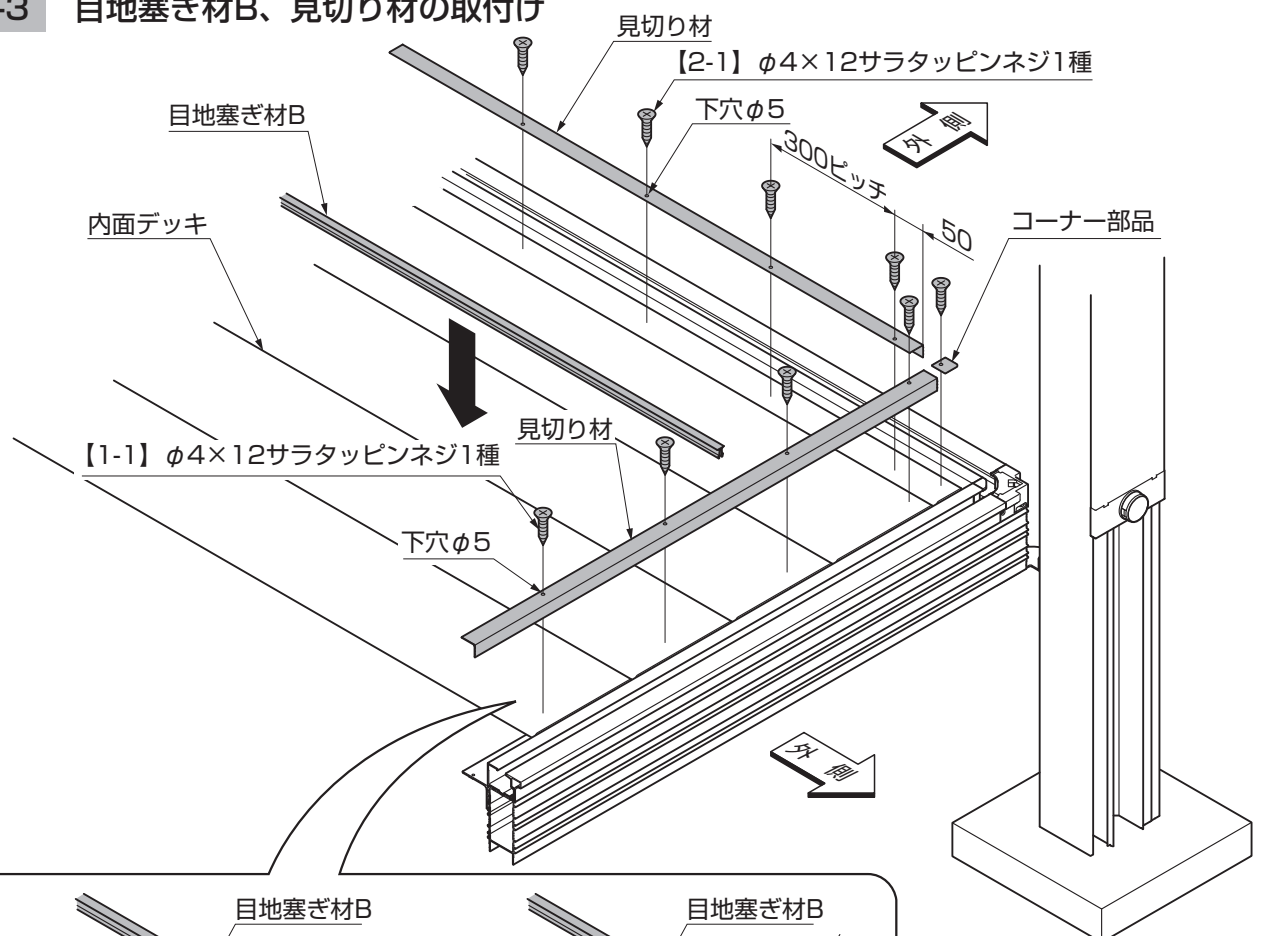


図1-17 基本タイプ

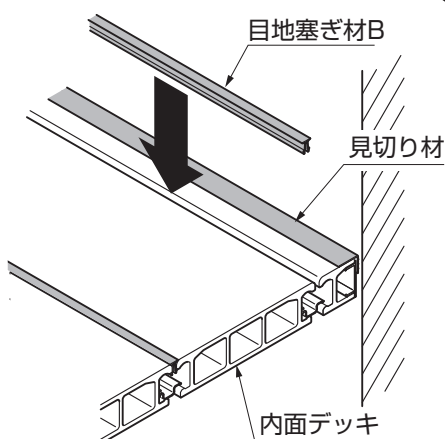


図1-18 入隅タイプ

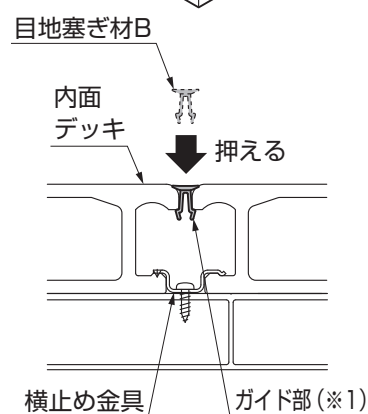


図1-19

①目地塞ぎ材Bをデッキとデッキの間にはめ込んでください。

ポイント

●入りにくい場合はガイド部(※1)を指でせまくしながらはめ込んでください。

②見切り材を固定する位置にφ5の下穴をあけてください。

③見切り材とコーナー部品をデッキに【1-1】、【2-1】で取付けください。

ポイント

●見切り材を固定する位置に下穴加工をする際、幅調整床板を固定しているネジ位置を避けるよう、確認してから下穴加工をしてください。

1. (つづき)

1-4 連棟仕様の入隅用コーナー柱間のデッキ納め

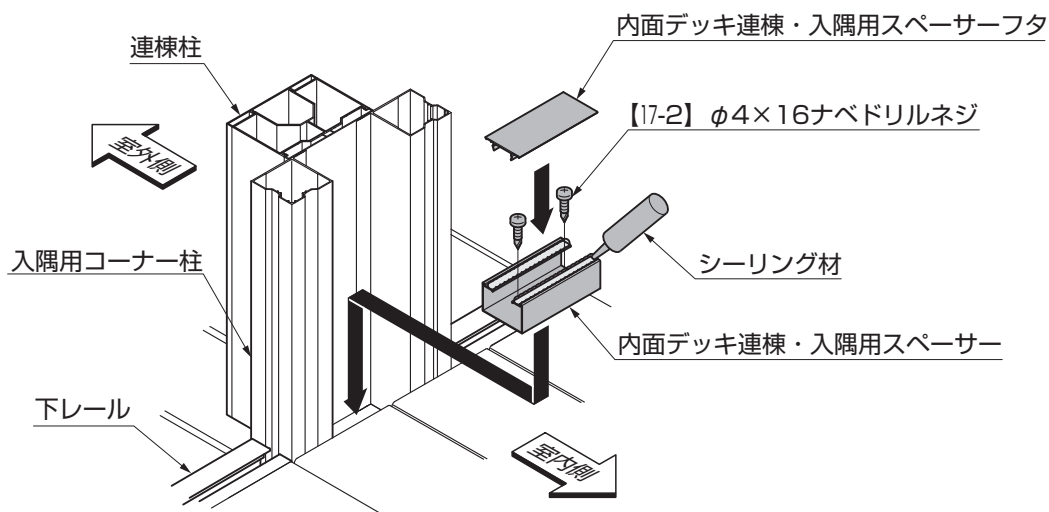


図1-20

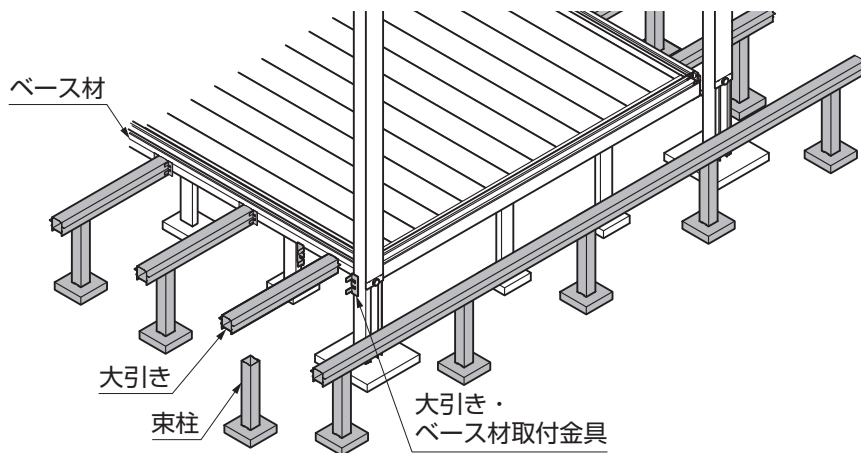
- ① 連棟部の入隅用コーナー柱間に内面デッキ連棟・入隅用スペーサーを【17-2】で取付けてください。
- ② 内面デッキ連棟・入隅用スペーサーにシーリング材をつけ、内面デッキ連棟・入隅用スペーサーフタをはめ込んでください。

ポイント

- 外面のデッキが土間の場合は【17-1】と【17-3】を使用してください。

2. 外面デッキの施工

2-1 大引きの取付け



ポイント

- 束柱、根がらみの取付けは「樹の木Ⅲ取付説明書(E203)」を参照してください。

- ①束柱を切断して外面デッキの高さを調整してください。

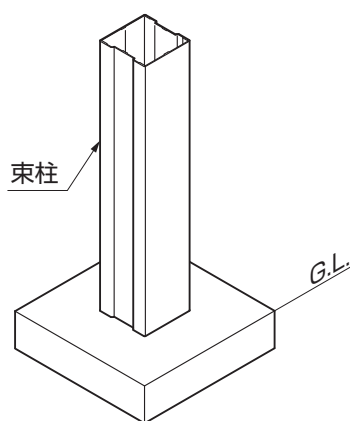


図2-1

【8-1】φ4×16ナベドリルネジ

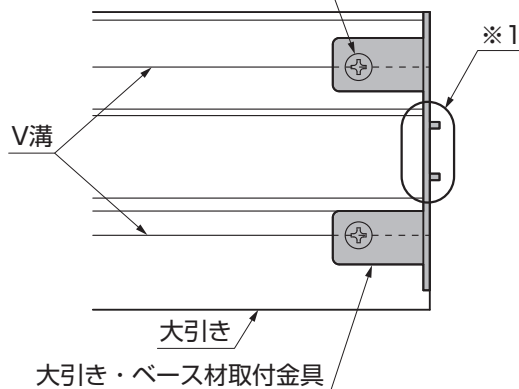


図2-2

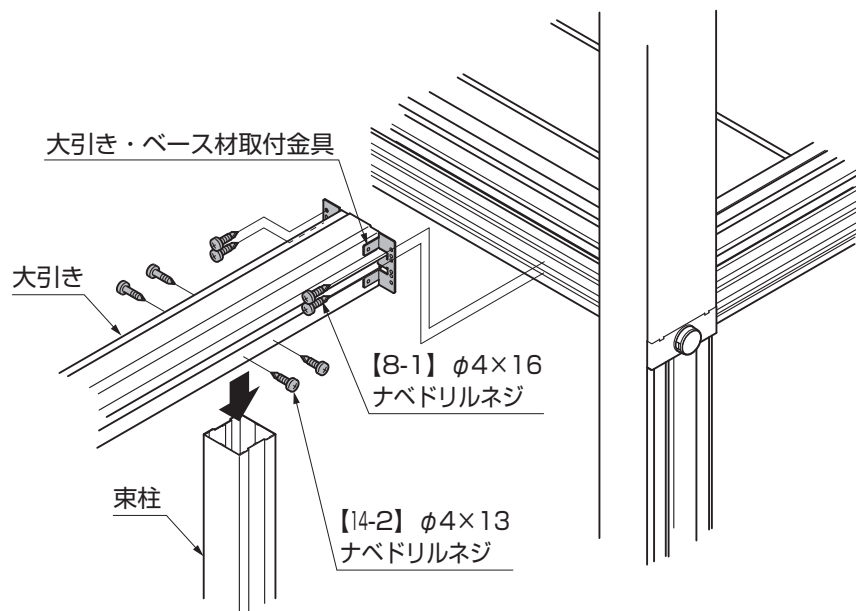
- ②大引きに大引・ベース材取付金具を【8-1】で取付けてください。

ポイント

- 大引き・ベース材取付金具は穴と大引きのV溝を合わせ、金具中央部のフィンの分(※1)だけが大きく端面から出っ張るように取付けてください。(図2-2参照)

2. (つづき)

2-1 つづき



③大引きを束柱の上に置き、ベース材に大引・ベース材取付金具を【8-1】で取付けてください。

④大引きと束柱を【14-2】で固定してください。

図2-3

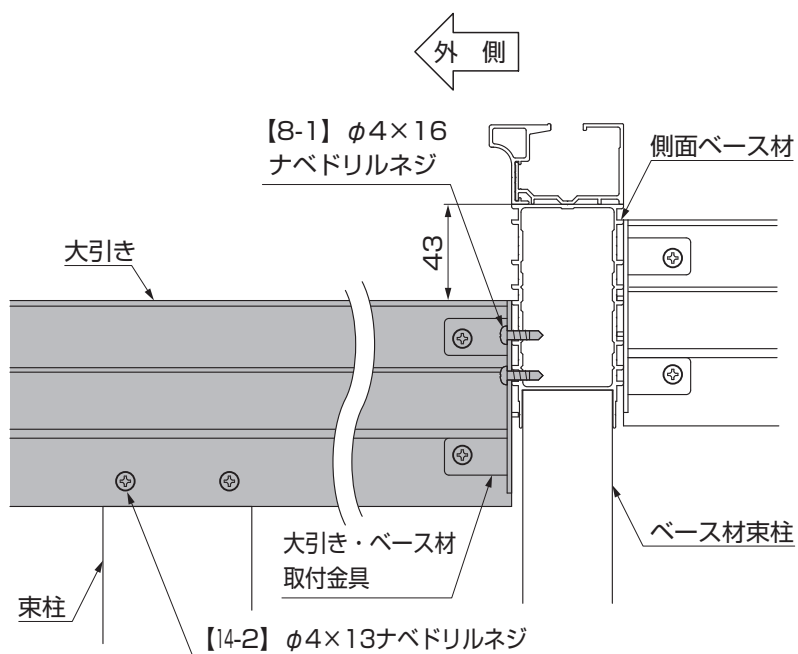


図2-4

2-2 外面デッキの張付け

(1) デッキ受け材、ジーマ前面見切り材、ベース材外スペーサーの取付け

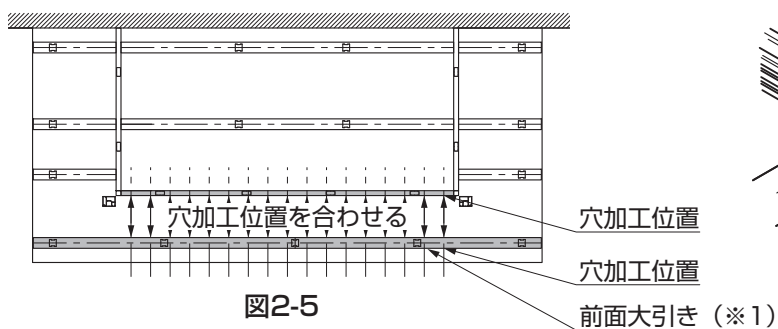


図2-5

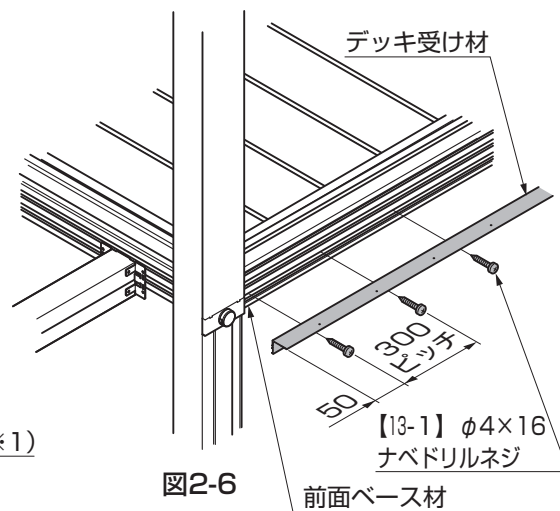


図2-6

①デッキ受け材を主柱間に納まるように、両端より切断してください。

ポイント

- デッキ受け材の加工穴が配置済みの前面大引き(※1)の加工穴と位置が揃うように両端より切断してください。(図2-5参照)

②デッキ受け材を前面ベース材に【I3-1】で取付けてください。(図2-6参照)

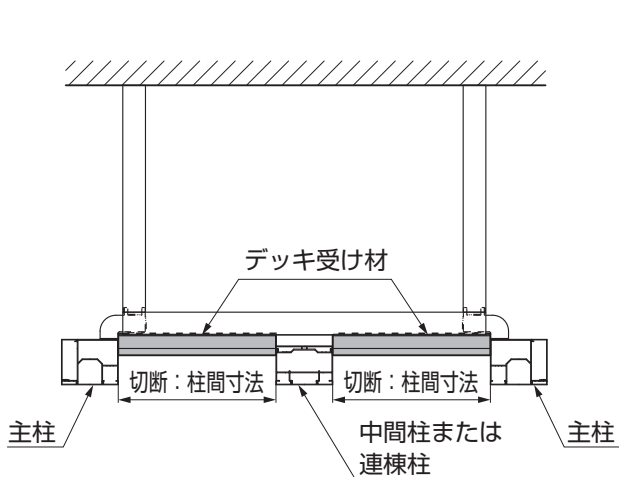


図2-7

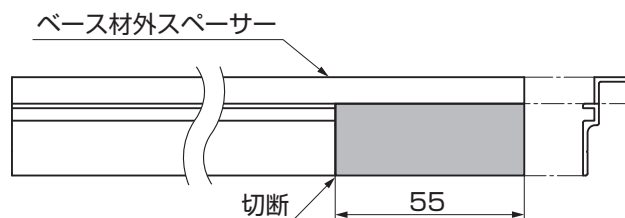


図2-8

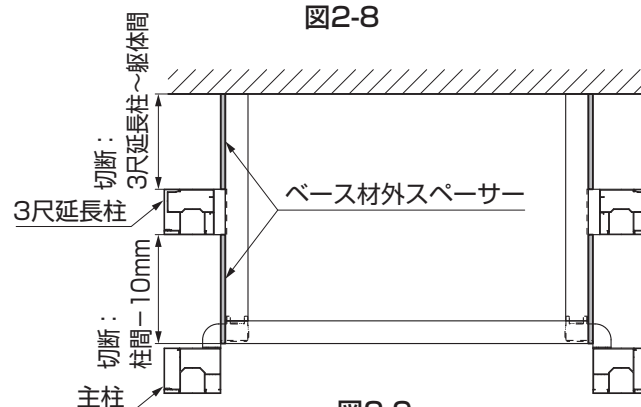


図2-9

ポイント

- 中間柱、連棟柱仕様の場合は、デッキ受け材を柱間寸法にそれぞれ切断してください。(図2-7参照)
- 連棟仕様のベース材連結部ではφ3.5の下穴加工をしてから取付けてください。

③ベース材外スペーサーの柱側端部を加工してください。(図2-8参照)

④3尺延長仕様の場合は、ベース材外スペーサーを柱間寸法-10mmと延長柱~躯体間寸法とにそれぞれ切断してください。(図2-9参照)

2. (つづき)

2-2 つづき

(1) つづき

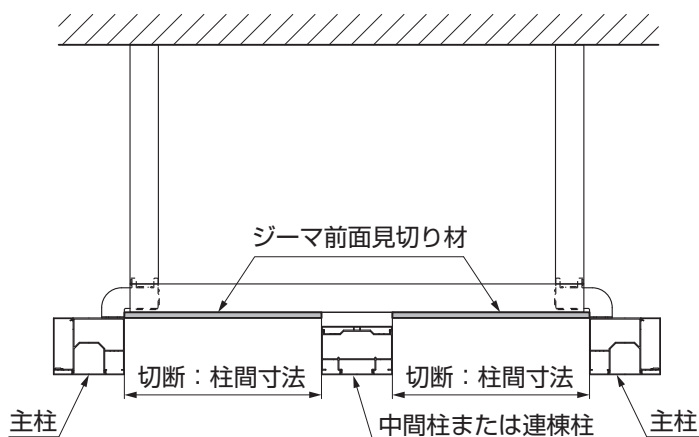


図2-10

③中間柱、連棟柱仕様の場合は、ジーマ前面見切り材を柱間寸法にそれぞれ切断してください。

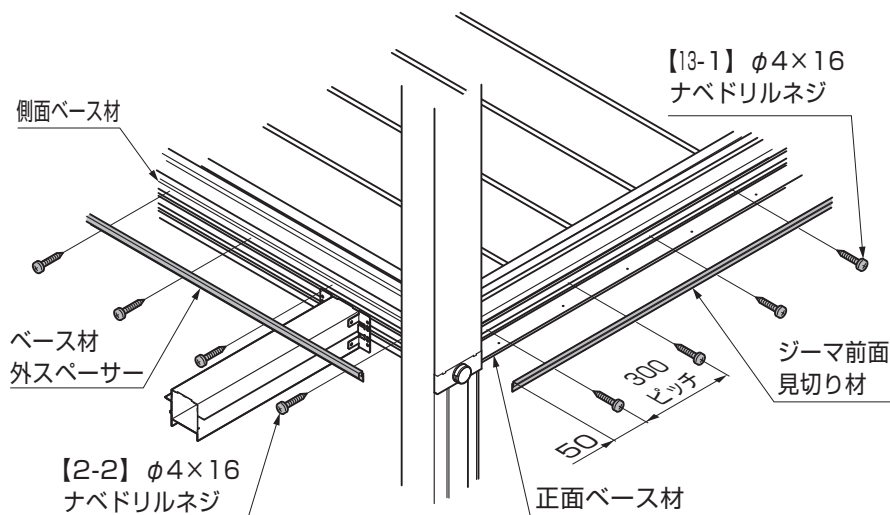


図2-11

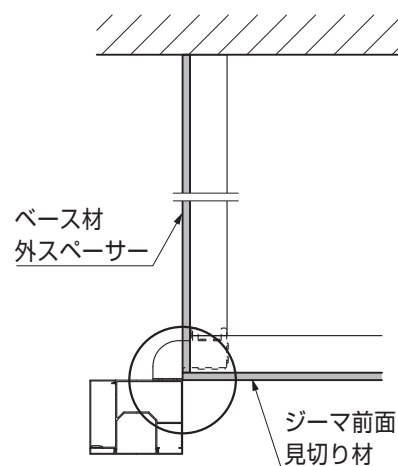


図2-12

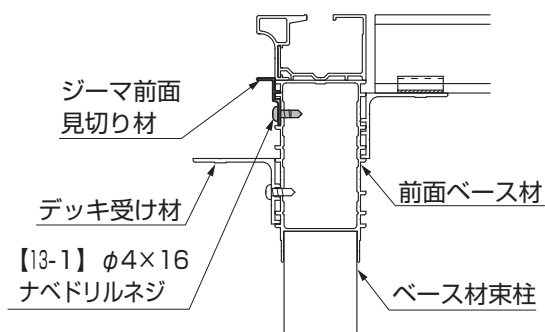


図2-13 間口

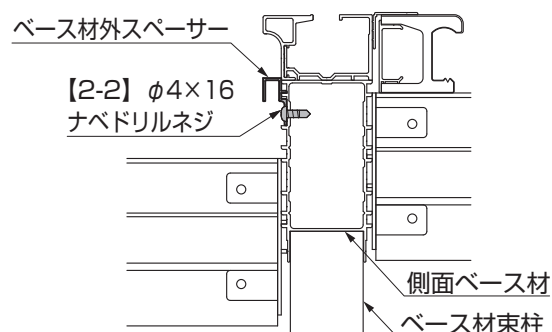


図2-14 側面

- ④ジーマ前面見切り材を前面ベース材に【13-1】で取付けてください。
⑤ベース材外スペーサーを側面ベース材に【2-2】で取付けてください。

ポイント

- ジーマ前面見切り材とベース材外スペーサーは、ジーマ前面見切り材勝ちになるよう取付けてください。（図2-12参照）

(2) デッキ納め柱部品の取付け

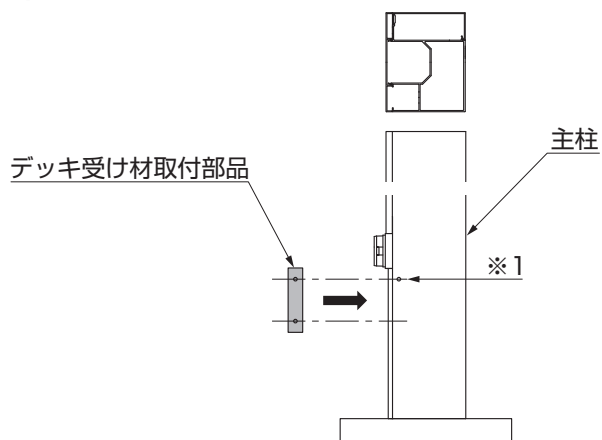


図2-15

①デッキ受け材取付部品を柱側面の穴に合わせて【10-1】、【11-1】で取付けてください。(図2-15参照)

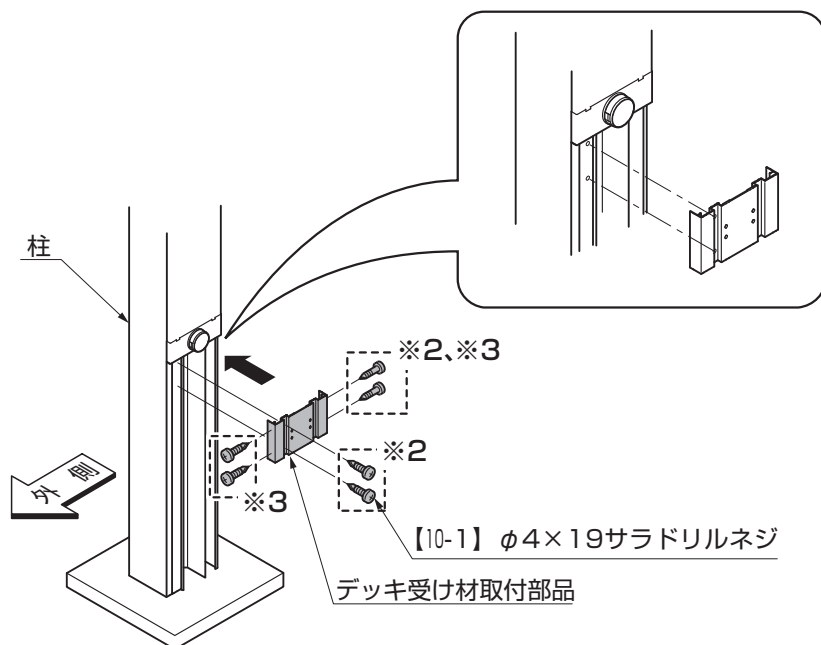


図2-16 主柱、中間柱、連棟柱の場合

ポイント

- 主柱、中間柱、連棟柱はF.L.下内側の穴位置とデッキ受け材取付部品側面の穴位置(※1)を合わせてください。(図2-15参照)
- 柱にデッキ納め柱部材を取付ける際「主柱の場合」は※2の箇所、「中間柱・連棟柱の場合」は※3の箇所に【10-1】で取付けてください。(図2-16参照)

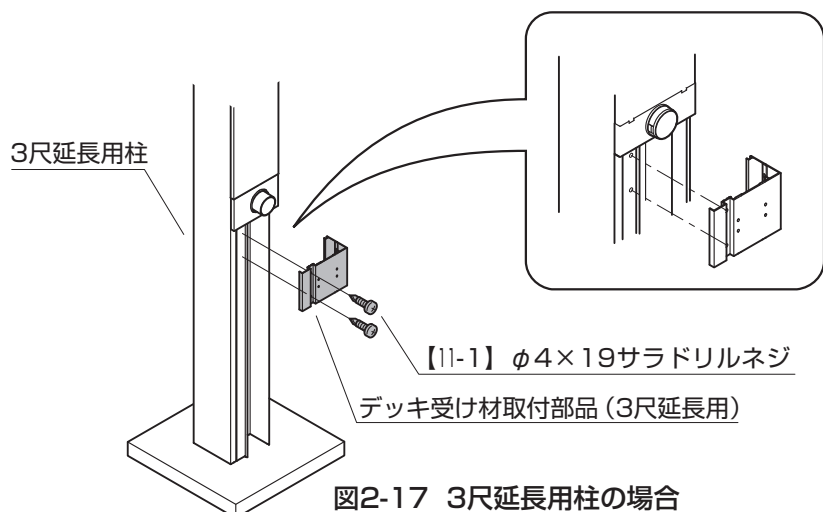


図2-17 3尺延長用柱の場合

ポイント

- 3尺延長柱はF.L.下正面の穴位置とデッキ受け材取付部品(3尺延長用)正面のくぼみの穴位置を合わせてください。(図2-17参照)

2. (つづき)

2-2 つづき

(2) つづき

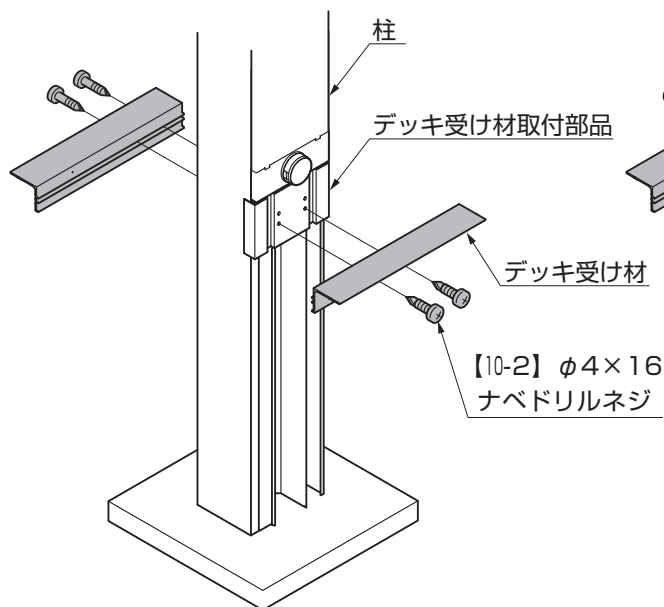


図2-18
主柱、入隅用主柱、中間柱、連棟柱の場合

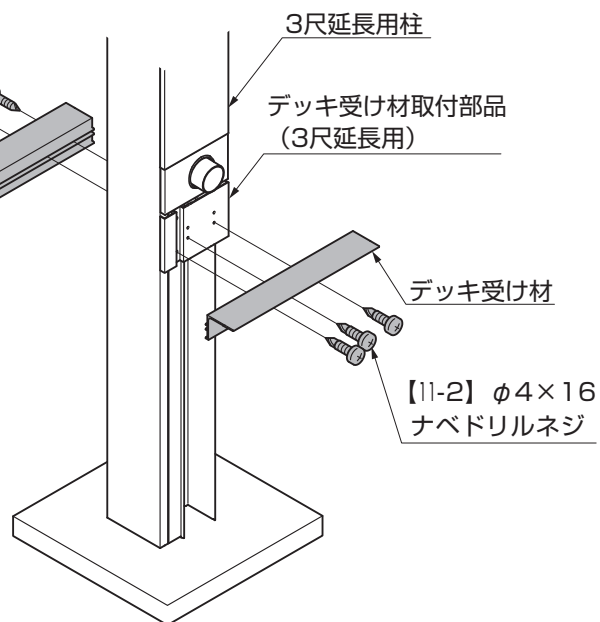


図2-19 3尺延長用柱の場合

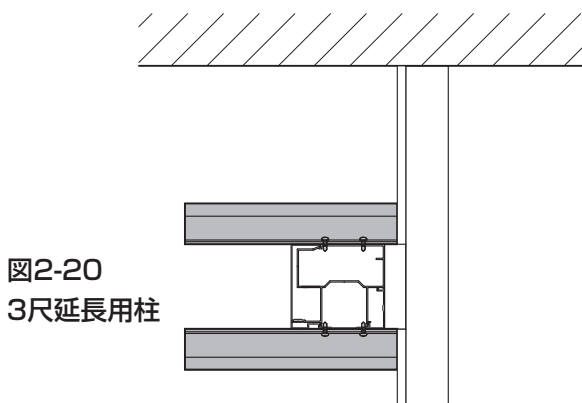


図2-20
3尺延長用柱

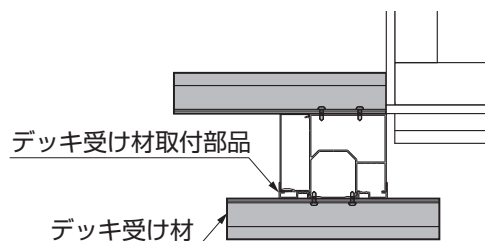


図2-21 主柱

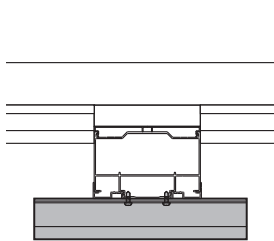


図2-22 中間柱、連棟柱

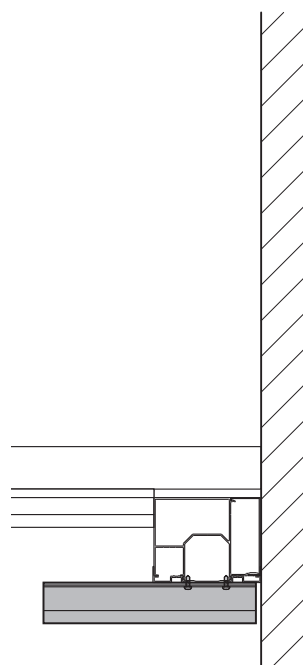


図2-23 入隅用主柱

②デッキ受け材をデッキ受け材取付部品と柱に【10-2】、【11-2】で取付けてください。

ポイント

●柱背面に取付けるデッキ受け材は、デッキ受け材取付部品に取付けたデッキ受け材と高さを合わせて取付けてください。

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

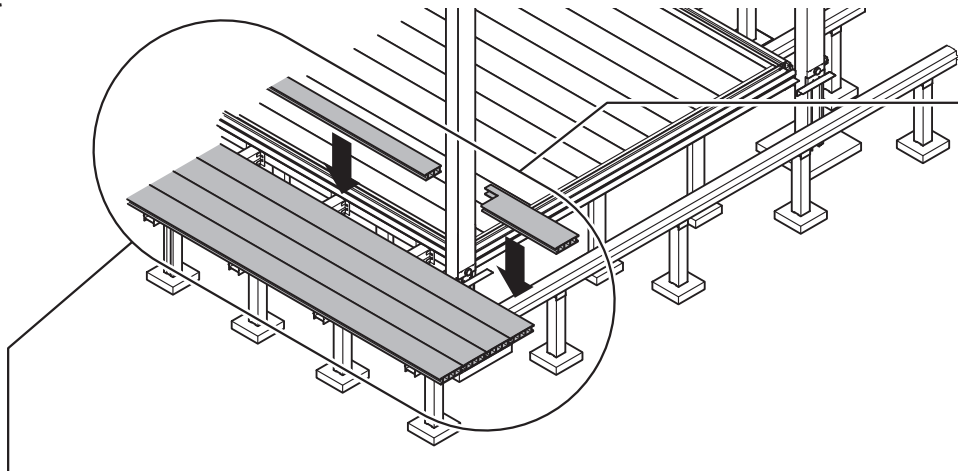
.....

.....

.....

2. (つづき)

2-2 つづき



(3) 幅調整床板の加工

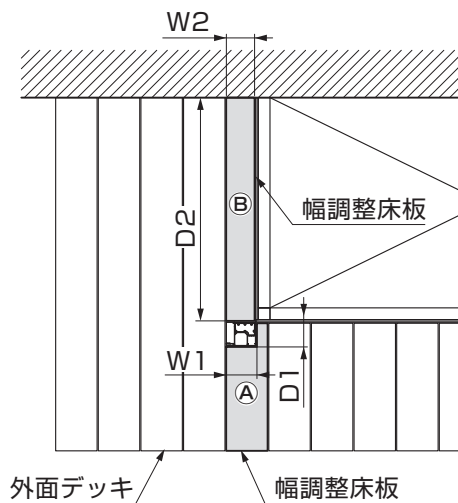


表2-1

①	②	③
A-5mm+デッキ納め 部材 ネジ止め	A-10mm+デッキ納め 部材 ネジ止め	A-5mm+ネジ止め

A : 見切り材を含む調整幅
B : 床板縦切りW寸法

表2-2 外面デッキ 幅調整床板加工寸法

	(左) 幅調整床板寸法			(右) 幅調整床板寸法		
	A寸法	B寸法	固定方法	A寸法	B寸法	固定方法
基本1.5間	130	125	①	130	125	①
基本2.0間	125	120	③	125	120	③
基本2.5間	120	115	③	120	115	③
基本3.0間	115	105	②	115	105	②
入隅1.5間	65	60	①	105	100	①
入隅2.0間	60	55	①	110	105	①
入隅2.5間	50	45	①	110	105	①
入隅3.0間	50	45	①	120	115	③

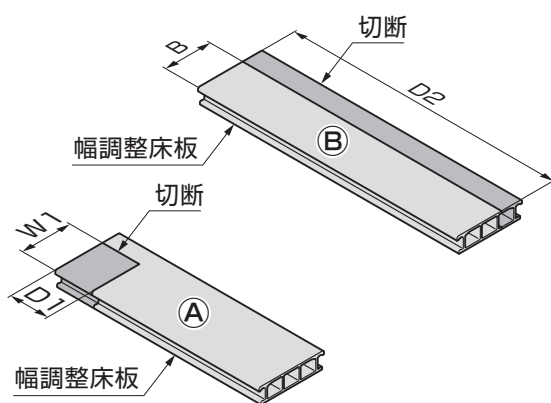


図2-24

- ① 幅調整床板の張付け位置を確認してください。
- ② 図2-24、表2-1、表2-2を参照して、柱、下レールに干渉するデッキを幅調整床板に加工してください。

ポイント

- 幅調整床板および柱周りのデッキ加工寸法は、あくまでも目安です。W1・W2・D1・D2の実際の寸法を計測して正確に加工してください。

(3) つづき

図2-25
3尺延長用柱

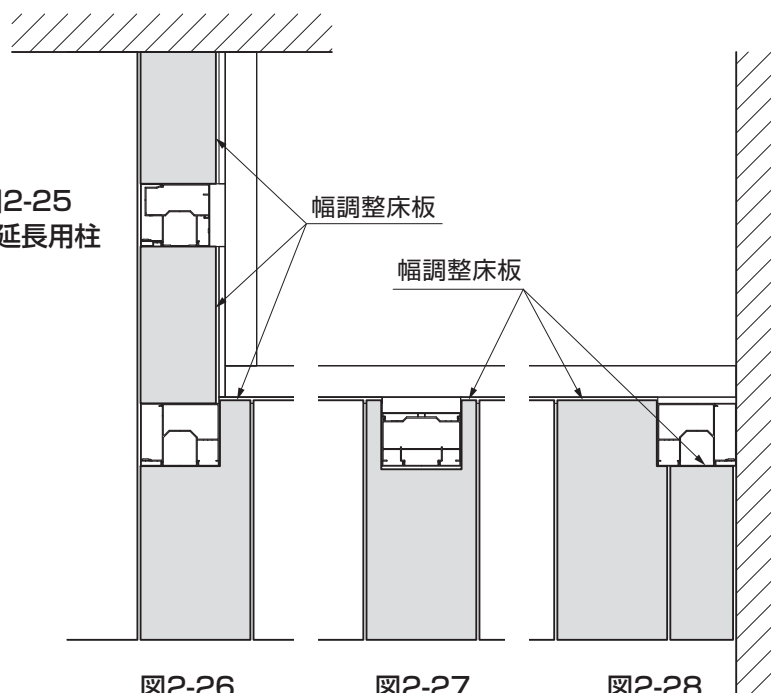


図2-26
主柱

図2-27
中間柱、連棟柱

図2-28
入隅用主柱

③主柱、3尺延長用柱、中間柱、連棟柱、入隅用主柱の場合は、図2-25、図2-26、図2-27、図2-28を参照して、柱と下レールに干渉するデッキを幅調整床板に加工してください。

補足

- 柱まわりの柱と床板のすき間を目地塞ぎ材Bを使用し塞ぐことが出来ます。その際、柱と床板のすき間は5mm必要です。
- 目地塞ぎ材Bは、柱まわりを計測して切断してください。
- すき間が10mm程あいている場合は、バックアップ材（別途手配）を使用して、上に目地塞ぎ材Bがのるようにして取り付けてください。
- 柱と目地塞ぎ材Bの間をシーリングしてください。

ポイント

- 加工寸法は現場で実際の寸法を計測して、正確に加工してください。

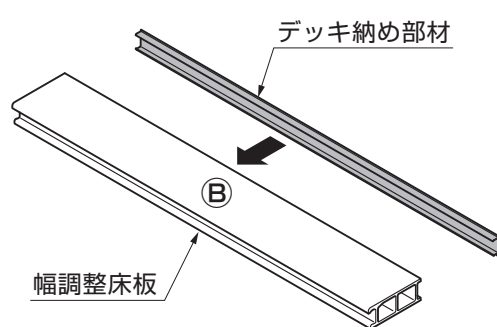


図2-29

リブ端面 縦割り：
デッキ納め部材不要

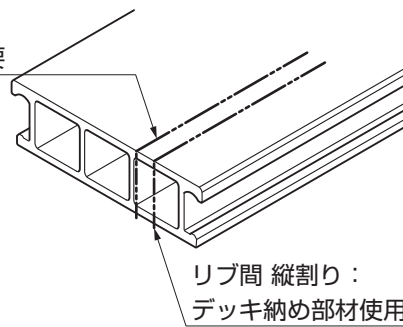


図2-30

④デッキ納め部材を幅調整床板にはめ込んでください。(図2-29参照)

ポイント

- デッキ納め部材は図2-30を参照して、必要な場合には必ず取付てください。

2. (つづき)

2-2 つづき

(4) デッキの張付け

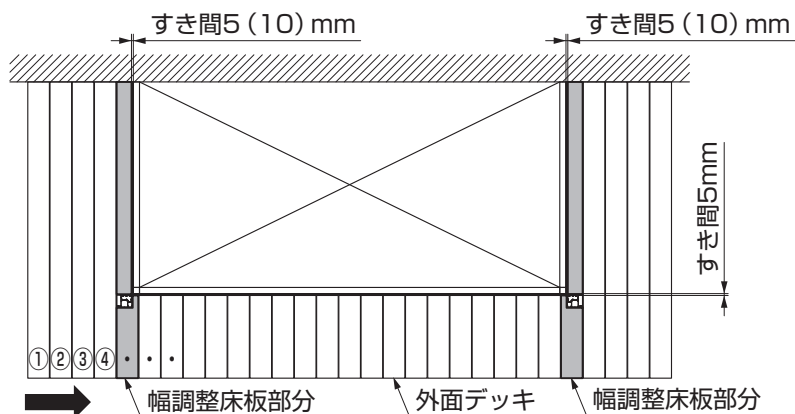


図2-31

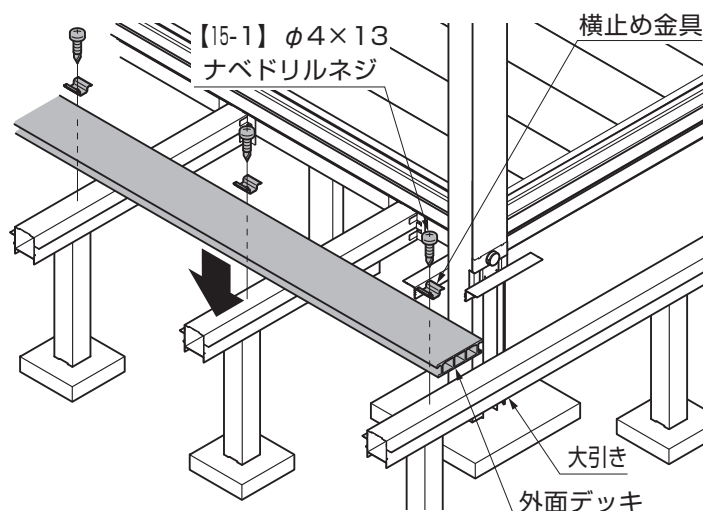


図2-32

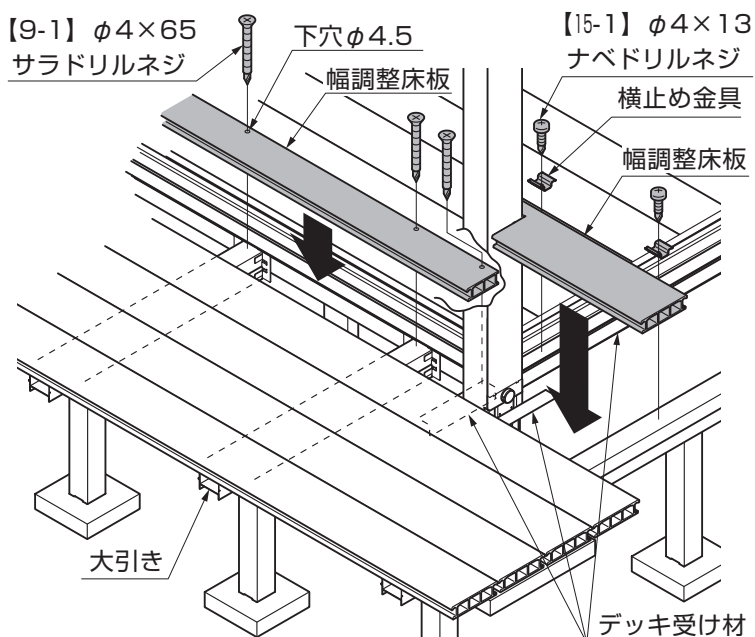


図2-33

ポイント

- デッキを配置する際は端部から配置してください。
- 外デッキとベース材のすき間を5(10)mm程度あけて張り込んでください。

①横止め金具を大引きに【15-1】で取付けて、外面デッキを固定してください。

- ②幅調整床板を固定する位置に表2-1を参照してφ4.5の下穴とφ10のサラ取りをしてください。
- ③幅調整床板を大引きに【9-1】で取付けてください。
- ④横止め金具をデッキ受け材、大引きに【15-1】で取付けてください。

ポイント

- 幅調整床板を固定するとき、1つ前の床板との間の横止め金具は、仮止め程度にゆるめに固定し、幅調整床板をはめ込んだ後に本締めをしてください。

2-3 見切り材の取付け

【2-1】 $\phi 4 \times 12$ サラタッピンネジ1種

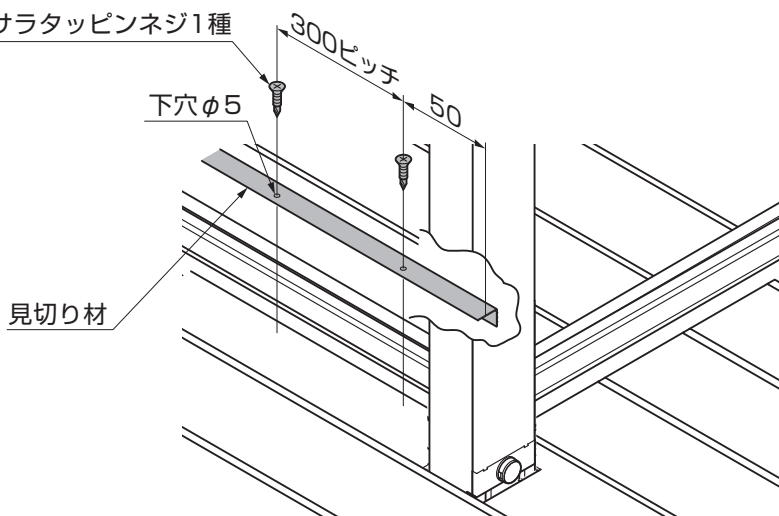


図2-34

- ① 見切り材を外側デッキに固定する位置に $\phi 5$ の下穴をあけてください。
- ② 見切り材を外側デッキの端部に【2-1】で取付けてください。

ポイント

- 見切り材を固定する位置に下穴加工をする際、幅調整床板を固定しているネジ位置を避けるよう、確認してから下穴加工をしてください。
- 見切り材は、ベース材外スペーサーに押付けるように取付けてください。

3. 幕板の取付け

ポイント

- 幕板の施工は「樹の木Ⅲ取付説明書(E203)」を参照してください。

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

6 インナーデッキ仕様の取付け ※インナーデッキ仕様の場合のみこの手順を行ってください。

1. 幕板の取付け

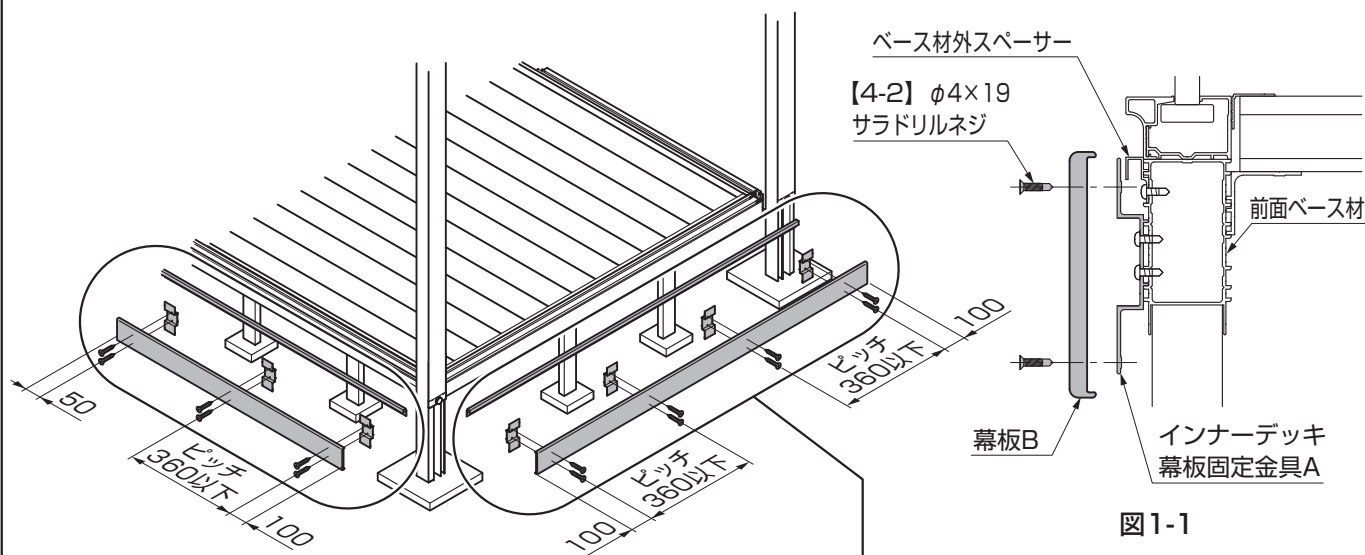


図1-1

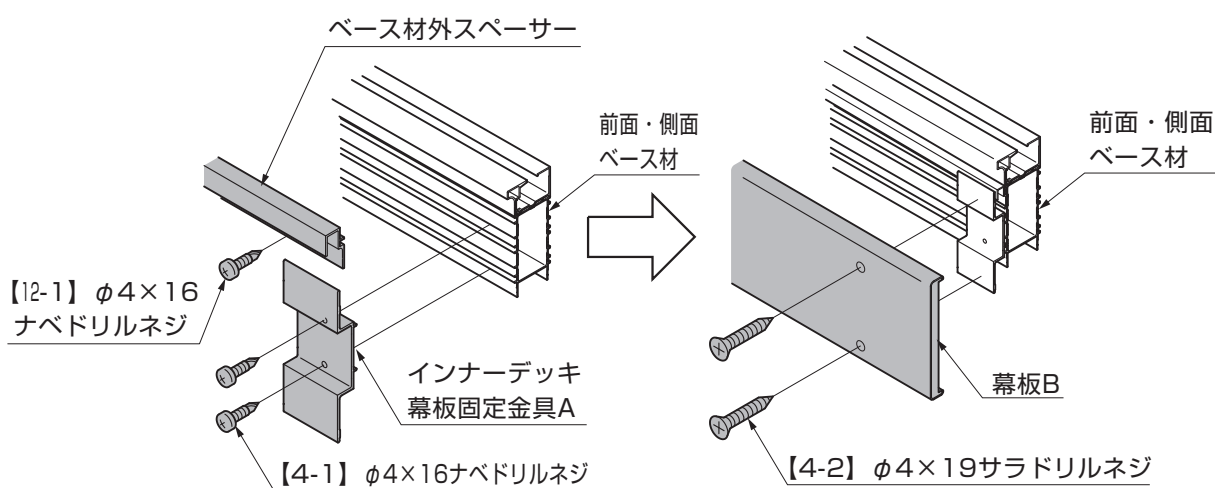


図1-2

図1-3

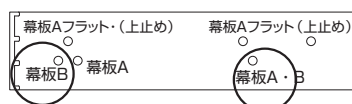


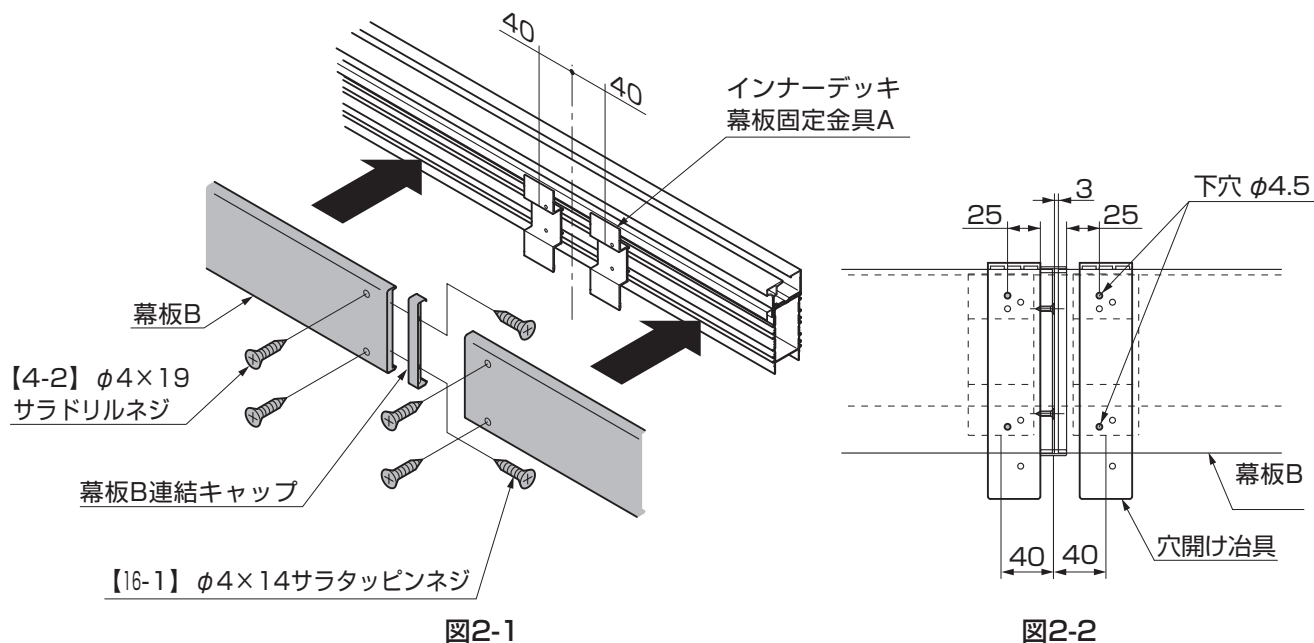
図1-4 穴開け治具

- ① ベース材外スペーサーを前面・側面ベース材に【12-1】で取付けてください。
- ② インナーデッキ幕板固定金具Aを前面・側面ベース材に【4-1】で取付けてください。
- ③ 幕板Bに穴開け治具を使って、インナーデッキ幕板固定金具Aが付いている部分にφ4.5の下穴をあけてください。
- ④ 幕板Bをインナーデッキ幕板固定金具Aに【4-2】で取付けてください。

ポイント

- 穴開け治具の○印の穴を使ってください。（図1-4参照）
- 中間柱・連棟柱・延長柱のある場合は、柱のうしろをスライドさせてください。この際、幕板Bに傷つかないように気をつけてください。

2. 幕板を連結する場合



- ① 幕板B連結キャップと幕板Bを【16-1】で固定してください。
- ② 幕板Bをインナーデッキ幕板固定金具Aに【4-2】で固定してください。
- ③ 連結する幕板Bをインナーデッキ幕板固定金具Aに【4-2】で固定してください。

ポイント

- 連結する場合は、連結キャップ内で3mmのすき間をあけて取付けてください。

メモ

